



# 公益社団法人 鹿児島県理学療法士協会

Kagoshima Physical Therapy Association

No.94(133)

2022.8.22 発行

総会員 2,667名 (8/22 現在) URL:<http://infokpta.com/>

E-mail:[infokpta@po.minc.ne.jp](mailto:infokpta@po.minc.ne.jp)



溝ノ口洞穴

鹿児島県理学療法士協会 令和3年度総括事業報告	2~3
令和3年度 事業報告/計画/収支報告	4~28
鹿児島県PT・OT・ST連絡協議会	
令和3年度 事業報告/収支決算報告	29~36
第36回 鹿児島県理学療法士学会 演題募集要項	37~38
始良地区 研修報告	39
南薩地区 研修・症例検討会 報告	40
奄美地区研修会・症例検討会のお知らせ	41~42
2021年度 介護報酬改定影響調査結果報告	43~49
私と私の職場紹介	50
私のおすすめ	51
先輩認定理学療法士よりアドバイス	52
事務局より	53~55
編集後記	55

◆発行：公益社団法人  
鹿児島県理学療法士協会

◆発行人：平名章二

◆編集：原口拓人

◆事務局：〒890-0063  
鹿児島県鹿児島市  
鴨池1丁目48-25

TEL：099(203)0860  
FAX：099(203)0865

## 令和3年度事業総括報告

会長 平名 章二

昨年6月の理事会にて会長を拝命してのこの1年、会員の多くのご支援ご協力のもと会の運営ができましたことをまずは感謝申し上げます。

令和元年末から続く新型コロナウイルス感染症は3年目を迎え、アフターコロナを見据えてようやくですがwithコロナを実践する傾向に変わりつつあるようです。しかしながら当県においては未だ第6波の後期にあり、特に医療界ではまだまだ活動自粛の状況にあります。ただ今後は感染予防に努めつつ、各界で活動再開に向けた道筋がつけられるものと予想され、当会でも今年度は少しずつ以前の活動を取り戻すことができると期待しております。

さて、令和3年度は2年度の感染拡大防止の観点による上半期事業中止というこれまでにない事態の経験から、ハイブリッド、オンラインという新たな士会活動様式に完全シフトした年となりました。運営担当サイドにおいてはオンライン作業の設定、配信、コンプライアンス検討などわずかな期間で準備し業務を執行致しました。スタッフの皆さんありがとうございました。オンラインゆえのフレキシブルさを活用し、よりフットワーク軽く気軽に参加が可能となるなど多くのメリットにも気づかされました。しかしその反面、顔が見えないために参加者の反応を肌で感じられないなど講師の方々にはやりにくさを感じるなどのデメリットもありました。また、会員の皆さんには不手際・不自由な点もありご迷惑をおかけしたことかと思ひます、運営担当者の努力・苦勞に免じどうぞご容赦下さい。士会ではアフターコロナにおいてもオンライン事業・オンライン研修は活用を継続していくものと思っておりますが、出欠確認などの双方向性に対しての課題が残っており、この点は改正していく必要があります。特に新生涯学習システムが稼働しポイント取得要件などで皆さんもご注意頂きたいと思ひます。

当会の活動目的は「会員の職業倫理の高揚を図るとともに、理学療法の学術及び技能の向上を推進し、県民の医療及び保健の充実並びに福祉の向上に寄与する」ことにあります。各局各部において、この制限下でも多くの活動を進めてきました。特に会員の学術研鑽を支える学術活動では理事・部長をはじめ多くの会員の方々が日常臨床の忙しい中、企画運営を行い実践していただきました。さらに鹿児島県理学療法士学会については前年に引き続きオンラインでの開催となりましたが多くの参加者を得て無事に開催することができました。皆さんありがとうございました。

また、県民に対する公益活動においては、各会員所属施設においてもコロナ禍での活動制限がなされつつも各自の高い感染予防意識と実行力により委託事業・各士会事業が展開でき県民へ我々の技能を還元することができました。重ねまして協力頂いたスタッフの皆さんとその留守を支えて頂いた各施設の会員に感謝申し上げます。



国（県自治体）の財政悪化・超超高齢社会・少子化など、我々を取り巻く構造的な課題は山積です。我々は与えられた環境下で理学療法に携わる専門職として、県民の医療及び保健の充実並びに福祉の向上に寄与する役割を見誤ることなく実践・提供していかねばなりません。

県民に対し責任ある医療人として活動するために、我々の技術向上・価値向上が必要と思います。そのためにも我々理学療法士の職域拡大・保障は重要な課題と捉えています。我々理学療法士の保障・安定無しに寄与還元は困難です。

今後も「会員の職業倫理の高揚を図るとともに、理学療法の学術及び技能の向上を推進し、県民の医療及び保健の充実並びに福祉の向上に寄与すること」の目標を達成するため、

- ① 医療・保健及び福祉の発展に寄与する事業
- ② 職業倫理高揚並びに学術及び技術の向上に関する事業
- ③ 教育機関に協力し理学療法士の資質の向上に寄与する事業
- ④ 理学療法に関する会誌その他の刊行物の発行及び調査研究に関する事業
- ⑤ 関連団体との連携及び協力に関する事業
- ⑥ 理学療法士の社会的地位の向上及び相互福祉に関する事業

のさらなる好展開を目指したいと思います。

以上、令和3年度事業をコロナ禍において幾多の困難はありましたが目標を達成したことをご報告いたします。

最後に、今年度は職域代表者を世に再度送り出す「保障と安定を考える」年でもあります。

引き続き我々理学療法士が国民県民に寄与しうる環境作りのため、もって国民県民の健康福祉のため会員の皆さんには、格段のご理解とご協力をお願いしたいと思います。

令和4年6月

## 令和 3 年度事業報告

### 事業名

#### I. 公益事業

#### 1. 医療・保健及び福祉の発展に寄与する事業

##### 講演

講師派遣 介護予防教室 (介護実習普及センター)  
機能訓練事業委託 十島村 鹿児島市社会福祉協議会

(障害者・児福祉部)

##### ① 高齢者福祉部会議 (Zoom 開催)

・令和4年2月7日 参加人数:7名

##### ②令和3年度鹿児島県社会福祉協議会 介護技術講習会(全10回)

・新型コロナウイルスの影響により、講習会は3講義延期・3講義中止

##### ③高齢者福祉部主催 介護技術伝達講習会

対象:介護職・一般

日時:令和4年3月12日 13:00~15:00

開催場所:Zoom 形式 参加人数19名

講習会内容:移乗介助と疾患別介助法

##### ① 障がい児・者福祉部会議

第1回:令和3年6月28日 Zoom 会議 参加者 7名

第2回:令和3年9月8日 Zoom 会議 参加者 5名

第3回:令和3年11月12日 Zoom 会議 参加者 6名

##### ②発達サポート研修会

1)第1回発達サポート研修会 日時:令和3年8月29日(日) 10:00~11:30

テーマ:利用者の加齢を考えよう!

~障がい就労者の身体ケアを考える~

講師:塩屋雄一 (やまびこ医療福祉センター)

開催方法:Zoom を用いたオンライン形式

対象:障がい就労者・関係者 等

参加者：5名 (一般2名、会員3名)

2)第2回発達サポート研修会 日時：令和3年11月20日(土) 10:00～11:30

テーマ：幼児期・学童期に注意したい姿勢や運動の問題

講師：小山尚宏 (菊野病院)

開催方法：Zoomを用いたオンライン形式

対象：保育園・幼稚園、放課後等デイサービス

参加者：131 端末 (1 端末で複数人の参加含む)

③鹿児島市 子どもすこやか安心ねっと事業調整会議

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から8月に書面開催。

会議資料をもとに、「県子ども総合療育センター」「鹿児島市母子保健課・障害福祉課・子ども政策課」に対する質問事項や今後事業調整会議のグループワークで話し合いたいことの項目について意見提出し、9月に回答得られた。

(医療保険部)

・診療報酬関連法令の情報収集

・会員からの相談対応

相談件数：4件

【相談内容】

- ・退院前訪問指導を行った同日に時間帯における疾患別リハビリの併用の可否について
- ・地域包括ケア病床における疾患別リハ単位数上限について
- ・地域包括ケア病床における13単位制限について
- ・脳梗塞後遺症の診断における13単位を超える単位算定について

(介護保険部)

・令和3年度介護保険・報酬制度改定について、適切な情報収集を行う。

・介護保険報酬・制度に関する適正な解釈について情報を収集する。

厚生労働省介護報酬改定に関するHPやQ&Aにて情報収集実施

・介護保険制度並びに報酬制度に関する問い合わせに対し、メールで受け付け、情報収集をして現状での参考回答を返信

問い合わせ件数：3件(上半期1件、下半期2件)

問い合わせ内容

- ・訪問リハ・通所リハにおけるリハビリテーションマネジメント



加算に関するもの（上半期）

- ・ 訪問リハにおける事業所医師による診察に関するもの
- ・ 通所リハ・疾患別リハにおける兼務について（医療保険部とともに回答作成のみ）

「介護保険等に係る市町村等説明会」への参加

例年のように鹿児島県からの「介護保険等に係る市町村等説明会」案内は無いものの、厚生労働省 HP に説明動画・資料がアップされたため、順次、視聴中

2. 職業倫理高揚並びに学術及び技術の向上に関する事業地域リハビリテーション活動  
地区会員の学術・技術の向上、地区会員の情報共有や連携・組織化（ネットワークの構築）

（始良ブロック）

第1回 始良地区会議 日時：令和3年8月12日（水）19：00～20：00

内容：役員紹介 コロナ禍状況の始良地区活動について 事業計画確認

会場：Zoom（Web会議） 参加者：10名

第2回 始良地区会議 日時：令和3年9月6日（月）18：30～19：20

内容：始良地区研修会・症例検討会について

会場：Zoom（Web会議） 参加者：9名

第1回 始良地区研修会（Web開催） 日時：令和3年10月15日（金）

19:00～20:30

テーマ：「呼吸器リハビリのフィジカルアセスメント」

講師：谷山生協クリニック 坂元 将也先生 参加者：68名

第2回 始良地区研修会（Web開催） 日時：令和3年11月24日（金）

19:00～20:30

テーマ：「排痰法」

講師：国分生協病院 吉野 徹先生 参加者62名

第3回 始良地区会議 日時：令和3年12月1日（月）18：30～19：20

内容：症例検討会について検討

会場：Zoom（Web会議） 参加者：10名

第1回 始良地区症例検討会（Web開催） 日時：令和3年12月9日（木）

19:00～21:00

発表者：6名 参加者 51名

第2回 始良地区症例検討会(Web開催) 日時：令和4年1月13日(木)  
19:00～21:00

発表者：7名 参加者 56名

(北薩ブロック)

第1回 代表者委員会

日程) 2021年7月7日(水) 18:30～17:30

内容) 2021年度地区研修会の詳細な内容の検討

参加者数) 12名

第2回 代表者委員会

日程) 2021年10月13日(水) 18:30～17:30

内容) 2022年度(次年度)地区研修会の内容の検討

参加者数) 11名

#### 【研修会】

日程) 2021年9月8日(水) 19:00～20:30

開催方法) Zoomアプリによるオンライン研修会

参加者数) 67名

テーマ) 「withコロナでの各施設での取り組み ①」

内容) 3施設におけるコロナ禍での感染対策における取り組み

1) 「新型コロナウイルスに対する当院の管理・運営について」

松翠会 森園病院 松本 善國 先生

2) 「当院の感染対策について ～クラスター発生を経験して～」

出水総合医療センター 村山 貴彦 先生

3) 「COVID-19に対する川内市医師会立市民病院の取り組み」

川内市医師会立市民病院 長嶺 英博 先生

#### 【第2回 北薩地区 研修会】

日程) 2021年11月10日(水) 19:00～20:30

開催方法) Zoomアプリによるオンライン研修会

参加者数) 61名

テーマ) 「with コロナでの各施設での取り組み ②」

内容) 3施設におけるコロナ禍での臨床実習生の受け入れについて

1) 「コロナ禍における臨床実習について」

新門リハビリテーションクリニック 酒匂 義広 先生

2) 「コロナ禍での臨床実習受け入れについて～当院での取り組みの紹介～」

クオラリハビリテーション病院 佐藤 勇介 先生

3) 「臨床実習における感染対策を指定規則から考える」

介護老人保健施設グレースホーム 岩森 俊 先生

### 【第3回 北薩地区 研修会】

日程) 2022年1月12日(水) 19:00～20:30

開催方法) Zoomアプリによるオンライン研修会

参加者数) 65名

テーマ) 「症例検討」 4題

(鹿児島ブロック)

①研修会 日 時:令和3年10月1日(金) 19:00～20:30

場 所:Web開催 (Zoom使用) 参加人数 36名

テーマ: 「股関節疾患に対する理学療法 1」

講 師: 牛ノ濱 政喜 先生 ちゅうざん整形外科

①症例検討会 日 時:令和3年9月3日(金) 19:00～20:30

場 所:Web開催 (Zoom使用)

参加人数: 25名. 症例検討会 6題

②鹿児島地区症例検討会 日 時:令和3年11月5日(金) 19:00～21:00

場 所:Web開催 (Zoomにて)

参加人数: 23名 症例検討会: 8題

③鹿児島地区・奄美地区合同症例検討会 日 時:令和4年1月14日(金) 19:00～20:30

場 所:Web開催 (Zoomにて)

参加人数: 20名

症例検討会: 5題



(大隅ブロック)

地区研修会

①日 時：令和3年10月7日(木) 18:30～20:00

会 場：Web開催 (zoom)

「高齢者理学療法と COVID-19 ～感染対策とサルコペニア・フレイルの対応～」

講師：垂水中央病院 富岡一俊先生

参加者：43名

②日 時：令和3年11月11日(木) 18:30～20:00

会 場：Web開催 (zoom)

「高齢者理学療法と歩行の関わり～基礎研究からのメッセージ～」

講師：垂水中央病院 宮崎宣丞先生

参加者：34名

地区症例検討会 日 時：令和3年11月26日(金) 18:30～20:00

会 場：Web開催 (zoom)

参加者：34名 演題数4

地区会議 3回実施。

(南薩ブロック)

地区研修会

① 日 時：令和3年9月24日(金)19:00～21:00

場 所：Web開催(Zoomにて) 参加者:37名

テーマ：臨床スキルを活かした小学校における運動器疾患予防

～授業での子どもたちとの「遊び」と「学び」～

講 師：馬場病院 小牧隼人 先生

② 日 時：令和3年11月7日(日)9:30～11:00

場 所：Web開催(Zoomにて) 参加者:43名

テーマ：臨床スキルを活かした小学校における運動器疾患予防

～教員・保護者へ向けた「健康教育」～

講 師：馬場病院 小牧隼人 先生

症例検討会 発表者 6 名

日 時 :令和 3 年 11 月 7 日(日)11:00~12:00

場 所 :Web 開催(Zoom にて)

地区会議 理事 地区長 地区リーダー参加にて Zoom にて 4 回開催

(奄美ブロック)

鹿児島・奄美地区合同研修会 令和 3 年 12 月 3 日 (金) 19:00~

講師:下江 甲作 先生 (きいれセントラルクリニック)

テーマ「 股関節疾患に対する理学療法 2 」

参加者: 51 名 (奄美地区 16 名 鹿児島地区 35 名)

鹿児島・奄美地区合同症例検討会 令和 4 年 1 月 14 日 (金) 19:00~

(Zoom を用いて)

症例発表者: 5 名 (奄美地区 1 名 鹿児島地区 4 名)

見学参加者: 27 名 (奄美地区 4 名 鹿児島地区 23 名)

① 奄美地区研修会 令和 4 年 2 月 18 日 (金) 19:00~

講師:牛ノ濱 政喜 先生 (ちゅうざん整形外科・内科・胃腸内科)

テーマ:「 股関節疾患の理学療法 」

参加者: 15 名 (奄美地区 12 名 鹿児島地区 3 名)

(学術部)

学術部主催の研修会を 2 回, 日本理学療法士協会主催の理学療法士講習会を 5 回開催した。開催形式としては昨年度と同様に, 新型コロナウイルス感染予防のため, 全て Zoom を使用したオンライン形式で開催した。

学術部主催研修会

第 1 回研修会 日 時:令和 3 年 6 月 6 日(日) 9:30-12:40

テーマ:脳画像のみかたとリハビリテーションへの応用

講 師:玉利 誠 先生 (弘前大学大学院保健学研究科)

参加者: 46 名

第 2 回研修会 日 時:令和 3 年 11 月 21 日(日) 9:30-12:40



テーマ：精神科領域の理学療法

講師：古園 龍也 先生（谷山病院）早田 善幸 先生（メンタルホスピタル鹿児島）

参加者：11名

#### 日本理学療法士協会主催理学療法士講習会

運動器疾患における歩行障害の評価と治療 -股関節障害を中心に-

日時：令和3年7月25日(日) 9:30-16:40

講師：建内 宏重 先生（京都大学大学院医研究科）

参加者：256名

内部障害に対する理学療法の進め方の基本

日時：令和3年8月1日(日) 9:30-16:40

講師：大重 匡 先生（鹿児島大学） 坂元 将也 先生（谷山生協クリニック）

宇都 良大 先生（霧島市医師会医療センター）

参加者：245名

変形性膝関節症に対する治療戦略

日時：令和3年9月4日(土) 13:30-16:10

令和3年9月5日(日) 9:30-12:40

講師：山田 英司 先生（仙台青葉学院短期大学）

参加者：241名

がん理学療法-退院支援、在宅支援、就労支援のための基本的な関わり方

日時：令和3年10月16日(土) 13:00-16:10

令和3年10月17日(日) 9:30-12:40

講師：高倉 保幸 先生（埼玉医科大学）

参加者：40名

脳卒中に対する歩行トレーニング 基礎から実際

日時：令和3年12月12日(日) 9:30-16:40

講師：大畑 光司 先生（京都大学大学院医研究科）

参加者：243名

#### (学術資料部)

学術部主催研修会、日本理学療法士協会主催理学療法士講習会において、Zoomのレコード機能を利用して録画した。希望のあった参加者1名に対し、動画共有サイトViemoを

使用し、オンデマンド配信を行った。

オンデマンド配信を行った研修会

内部障害に対する理学療法の進め方の基本

第 35 回鹿児島県理学療法士学会の開催

2月20日 ウェブ開催 参加者 294名

特別講演「看取りに関わるとき、理学療法しにできることは何か？」

きいれ浜田クリニック 濱田 努先生

ランチョンセミナー

「前略、皆さま。毎日ワクワクお過ごしですか？」

井の中の理学療法士とならないために大切な3つのこと」

霧島市立医師会医療センター 愛下 由香里先生

一般演題 25 題 (口述)

(専門領域研究部)

生活環境系 2 回、呼吸器系 1 回、循環器系 1 回、神経系 1 回、スポーツ系 1 回の合計 6 回の研修会を実施。

全て Zoom を使用した遠隔で研修会を実施。「実技中心の研修会」という専門領域研究部のコンセプトに合わせるよう色々と工夫し、ブロック研修会との連携で研修会を実施。

(生涯学習部)

新卒者オリエンテーション名で実施)

令和 3 年 4 月 14 日 (日) ハイブリッド形式で開催

場所：鹿児島大学医学部保健学科インテリジェント講義室

09:30-09:45 会長挨拶

09:45-10:15 倫理 会場 10 名

10:15-10:45 理学療法連盟政策 リモート 112 名

10:45-11:00 協会入会案内 参加者 122 名 +  $\alpha$

(新人教育プログラム名で実施)

令和 3 年 7 月 18 日 (日) 2 年目以上限定は参加申し込みが数名と少なかったため中止とし、申込者へは別日への参加移動を行った。

令和 3 年 8 月 29 日 (日) オンライン開催

A-1：理学療法と倫理

参加者 34 名



A-2：協会組織と生涯学習システム	参加者 34 名
A-3：リスクマネジメント	参加者 34 名
A-4：人間関係および接遇	参加者 34 名
A-5：理学療法における関連法規（労働法含む）	参加者 34 名
D-4：理学療法士のための医療政策論	参加者 34 名

令和3年9月12日（日）オンライン開催

B-1：一次救命処置と基本処置	参加者 28 名
B-3：統計方法論	参加者 20 名
B-4：症例報告・発表の仕方	参加者 20 名
D-3：理学療法の研究方法論（EBPT 含む）	参加者 28 名
E-1：臨床実習指導方法論	参加者 28 名

令和3年10月10日（日）オンライン開催

B-1：一次救命処置と基本処置	参加者 24 名
B-3：統計方法論	参加者 13 名
B-4：症例報告・発表の仕方	参加者 15 名
D-3：理学療法の研究方法論（EBPT 含む）	参加者 25 名
E-1：臨床実習指導方法論	参加者 24 名

令和3年11月14日（日）オンライン開催

A-1：理学療法と倫理	参加者 16 名
A-2：協会組織と生涯学習システム	参加者 16 名
A-3：リスクマネジメント	参加者 16 名
A-4：人間関係および接遇	参加者 16 名
A-5：理学療法における関連法規	参加者 16 名
D-4：理学療法士のための医療政策論	参加者 19 名

令和3年12月5日（日）オンライン開催

C-3：内部障害の理学療法	参加者 65 名
C-4：高齢者の理学療法	参加者 68 名
C-5：地域リハビリテーション（生活環境支援含む）	参加者 61 名

令和4年1月25日（火）オンライン開催

C-3：内部障害の理学療法	参加者 15 名
C-4：高齢者の理学療法	参加者 21 名

令和4年1月25日(木) オンライン開催

C-5: 地域リハビリテーション(生活環境支援含む) 参加者 17名

(臨床教育支援推進委員会)

鹿児島県理学療法士養成課程臨床実習指導者養成連絡協議会協議会と連携して、10回の鹿児島県臨床実習指導者講習会を開催、475名が修了。

令和4年3月8日に鹿児島県理学療法士養成課程臨床実習指導者養成連絡協議会協議会担当者会議を開催し、次年度計画を決議。

臨床実習施設認定の改正を検討。

#### 4. 理学療法に関する会誌その他の刊行物の発行及び調査研究に関する事業

(編集部)

編集部会

第1回編集部会

日時: 令和3年5月14日(金) 18:00~ 会場: ZOOM 参加者: 6名

第2回編集部会

日時: 令和3年11月25日(木) 17:45~ 会場: ZOOM 参加者: 5名

機関誌の発行

第1回 (No.89) 令和3年8月10日発行 (冊子版)

第2回 (No.90) 令和3年10月25日発行 (WEB版)

第3回 (No.91) 令和3年12月20日発行 (冊子版)

第4回 (No.92) 令和4年3月14日発行 (WEB版)

(調査・資料部)

調査資料部会議

第3回会議 12/2 (木) 参加者7名

内容: 新型コロナウイルス感染対策による業務影響調査について

新入会員のアンケートについて

令和3年介護報酬改定の影響調査について

第4回会議 2/21 (月) 参加者7名



内容：新型コロナウイルス感染対策による業務影響調査について  
新入会員のアンケートについて  
令和3年介護報酬改定の影響調査について

#### 調査事業

- ・新型コロナウイルス感染対策による業務影響調査について
- ・新入会員のアンケートについて
- ・令和3年介護報酬改定の影響調査について

#### 5. 関連団体との連絡及び協力に関する事業

(公益事業部)

全国一斉イベント 介護予防推進キャンペーン in イオンモール 令和3年7月11日  
(日) 10:00～13:00

開場：イオンモール鹿児島

参加スタッフ：5名（公益事業部2名、広報部3名）

内容：広報部と協働で実施。

テレビモニターを使用し「協会の取り組み」や理学療法士が活躍する領域紹介」等の動画の上映。

一般市民向けのフレイル、介護予防などについての「理学療法ハンドブック、フライヤー等の配布」を行い、状況に応じて相談対応を行った。

ソーシャルディスタンス、消毒など感染対策を講じながら多数の方に広報する。

公開講座「看護介護向け動作介助研修会」 令和3年7月18日(日) 9:00～12:00

開場：オンライン開催

講師：土井敦 PT

PT アシスタント：金谷親好 PT、岩森俊 PT

参加者：36名（19施設）

内容：オンラインにて座学を中心に実施。実技は動画で配信し、参加者から理解しやすかった等の感想をいただいた。

チャット機能を用いての質問や、参加者同士でその場で練習している場面も見られ、積極的に研修会に参加されていた。反省・改善点としては企画、案内の方法や時期などが挙げられた。次回に活かしていきたいと考える。（今後に向け参加者にアンケート実施）

公開講座打ち合わせ（3回）

令和3年4月26日(月)、5月27日(木)、7月12日(月)に公開講座の打ち合わせ会議をリモートで実施。

(渉外部)

介護予防シンポジウム 令和3年7月30日

開場:オンライン開催

講師:神田勝利 PT(霧島市)、永濱智美 PT(鹿屋市) 岩森俊 PT(鹿児島市)

参加者:28名(理学療法士) 内容:毎年、『理学療法の日』の一環として開催している。

今年度は上記の3市の地域での取り組み事例を15分ずつ発表していただいた。対象を県内のPT、OT、STの会員と行政職員と設定し案内したが、参加者はPTのみであり、今後、広報の方法など検討していきたい。

第38回かごしま市民健康まつりへの参加 令和3年11月14日  
~11月28日の間

会場:オンライン配信

参加者:有村実行委員、渉外部スタッフ4名で動画作成→配信 内容:例年のブース出展は新型コロナ対策中止となり、各団体で健康に関する専門性を活かした動画を作成することになった。内容としては・フレイル対策・よかよか体操の紹介・転倒予防を約10分の動画にまとめた。視聴回数も良好だった。

公開講座:「障がい者・介護者・支援者に訊く」(2月予定) 私たち専門職に望んでいることは何か、当事者・介護者・支援者といった様々な立場からお話をいただき、私たちの普段のリハビリテーションを振り返ると同時に、今後の在り方を考える機会とする予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大により中止とした。

## 6. 理学療法士の社会的地位の向上

(広報部)

介護予防推進キャンペーンでの広報活動(理学療法士協会物品配布)

日時:令和3年7月11日(日) 8:45~13:00

場所:イオンモール鹿児島

新型コロナウイルス感染防止に配慮し規模を縮小して広報物品配布(設置型とし、自由に閲覧・持ち帰れるよう配慮)・個別相談を実施。

30名程度の方が来場され、3名の個別相談に応じた。



次年度介護予防推進キャンペーンに向けた広報物品の選定・見積もり依頼  
次年度発注予定部数 風船 300部

鹿児島県理学療法士協会公式 LINE での情報配信

登録者 3/31 現在 579 今年度配信回数：16回

月額プラン：1000通/月のフリープラン → 15000通/月のライトプランへ変更

## II. その他の事業

### 1. 会員の福利厚生に関する事業

(福利厚生部)

ホームページや機関誌を通じて各種保険等の紹介研修会の開催  
会員からの写真コンテストを行い、表彰した。

## III. 管理費

(総務部)

会員管理(会員入退会及び異動等の手続き及び管理)、日本理学療法士協会との連携会議議事録の作成・整理及び保管業務、文書の収受・発行及び管理に関する業務  
公印の管理に関する業務、刊行物の発送・整理・保管に関する業務、規定集の整理  
公益法人の手続き・必要書類の作成、ホームページ管理、他部との連携、代議員総会の実施

(財務部)

年会費納入案内、年会費納入状況の確認作業、研修会参加費徴収業務予算案及び決算書の作成、

各部委員会の予算執行、支払等、出納帳管理会計監査、会計事務所と連絡、公益法人会計の研修会参加

(理事会) 12回開催

各部との連絡調整 理事会の開催 法人の業務執行の決定

法人の業務執行に関する内部監査 理事の職務の執行の監督 会長及び副会長の選定及び解職総会の日時及び場所並びに目的である事項の決定

関係団体との各種会議への出席 日本理学療法士協会との各種会議への参加 九州ブロック会長会議出席

(選挙管理委員会)

**【委員会会議】**

JPTA 代議員選挙に関して

日 時：2021年10月15日 18:00～ ウェブ開催

内 容：JPTA 代議員選挙実施要綱  
インターネット投票システムの案内方法  
県士会での広報活動等

鹿児島県理学療法士協会代議員選挙に関して

日 時：2021年12月16日・21日 18:00～ きりしま内科リハビリクリニック

内 容：選挙日程  
代議員選挙実施要綱  
Web投票に関する内容を協議

**【委員会活動】**

1、JPTA 代議員選挙

2022年1月・・・広報活動→事務局へ協力依頼  
2022年3月・・・代議員の推薦→理事へ報告、推薦者決定

2、県士会 代議員選挙

2022年1月・・・選挙告示及び選挙実施要綱  
2022年2月・・・立候補者及び推薦候補者選定  
2022年3月・・・代議員決定

(政策検討委員会)

政策検討委員会議

第1回 政策検討委員会議 日時：2021年 7月 5日 19:00～

場所：Zoom 参加者11人

議案：県士会に報告する政策についての検討 連盟委託事業に関する件

第2回 政策検討委員会議 日時：2021年 9月17日 19:00～

場所：Zoom 参加者 8人

議案：県士会に報告する政策についての検討連盟委託事業(リーダー塾)の進捗状況

第3回 政策検討委員会会議 日時：2022年1月26日 19:00～

場所：Zoom 参加者5人

政策提言書を作成し理事会に提出

九州ブロック政策活動会議に参加(2回/年)

日時：2021年12月1日 19:00～場所：Zoom 会議

日時：2022年3月31日 19:00～場所：Zoom 会議

九州各県の情報交換 小川かつみ後援会の活動について

他協力団体

鹿児島県 POS 連絡協議会

九州ブロック会

臨床実習関係担当者会議

11月10日 18:30～ オンライン会議

政策検討委員会

12月1日 19:00～場所：Zoom 会議

3月31日 19:00～場所：Zoom 会議



## 貸借対照表

令和 4年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金預金	35,997,422	30,315,307	5,682,115
普通預金	35,997,422	30,315,307	5,682,115
鹿銀川辺 836244	35,537,469	30,075,618	5,461,851
鹿銀川辺 436337	380,423	239,659	140,764
鹿銀鴨池 3464003	79,510	10	79,500
鹿銀鴨池 3464014	10	10	
鹿銀鴨池 3464025	10	10	
仮払金	289,360		289,360
<b>流動資産合計</b>	<b>36,286,782</b>	<b>30,315,307</b>	<b>5,971,475</b>
<b>2 固定資産</b>			
(1) 基本財産			
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	3,818,989	3,518,920	300,069
事務局開設積立資産	14,713,751	14,713,607	144
事務局開設積立 (指)	1,458,693	1,458,693	
事務局開設積立 (一)	13,255,058	13,254,914	144
<b>特定資産合計</b>	<b>18,532,740</b>	<b>18,232,527</b>	<b>300,213</b>
(3) その他固定資産			
什器備品	3,324,975	2,977,025	347,950
減価償却累計額(その他) △	2,794,821	2,492,762	302,059
電話加入権	72,618	72,618	
ソフトウェア		34,668	△34,668
<b>その他固定資産合計</b>	<b>602,772</b>	<b>591,549</b>	<b>11,223</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>19,135,512</b>	<b>18,824,076</b>	<b>311,436</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>55,422,294</b>	<b>49,139,383</b>	<b>6,282,911</b>
<b>II 負債の部</b>			
<b>1 流動負債</b>			
未払金	632,088	693,000	△60,912
報酬	607,908	693,000	△85,092
事業経費	24,180		24,180
前受金	14,814,000	14,292,000	522,000
預り金	115,217	138,043	△22,826
謝金等源泉税	72,350		72,350
社会保険料等本人負担	42,867	138,043	△95,176
<b>流動負債合計</b>	<b>15,561,305</b>	<b>15,123,043</b>	<b>438,262</b>
<b>2 固定負債</b>			
退職給付引当金	2,099,387	2,099,387	
退職給付引当金(事)	1,049,693	1,049,693	
退職給付引当金(管)	1,049,694	1,049,694	
<b>固定負債合計</b>	<b>2,099,387</b>	<b>2,099,387</b>	
<b>負債の部合計</b>	<b>17,660,692</b>	<b>17,222,430</b>	<b>438,262</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>1 指定正味財産</b>			
寄付金	1,458,693	1,458,693	
<b>指定正味財産合計</b>	<b>1,458,693</b>	<b>1,458,693</b>	
<b>2 一般正味財産</b>	36,302,909	6,370,440	29,932,469
<b>正味財産の部合計</b>	<b>37,761,602</b>	<b>7,829,133</b>	<b>29,932,469</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>55,422,294</b>	<b>25,051,563</b>	<b>30,370,731</b>

## 収 支 計 算 書

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
<b>I 事業活動収支の部</b>			
<b>1. 事業活動収入</b>			
(3) 入会金収入			
新入会員入会金	750,000	820,000	70,000
(4) 会費収入			
正会員会費収入	21,600,000	20,781,000	△819,000
新入会員会費収入	1,350,000	1,429,000	79,000
賛助会員会費収入	140,000	140,000	
(5) 事業収入			
受託事業収入	548,000	645,057	97,057
研修会参加料収入	1,350,000	3,588,000	2,238,000
(6) 補助金等収入			
民間補助金収入	1,870,000		△1,870,000
民間助成金収入		1,763,500	1,763,500
(9) 雑収入			
受取利息収入		309	309
雑収入	200,000	48,360	△151,640
<b>事業活動収入計</b>	<b>27,808,000</b>	<b>29,215,226</b>	<b>1,407,226</b>
<b>2. 事業活動支出</b>			
(1) 事業費支出			
給料手当支出	5,800,000	4,397,536	1,402,464
臨時雇賃金支出		86,400	△86,400
退職給付支出		163,200	△163,200
中退共掛け金		163,200	△163,200
福利厚生費支出	1,200,000	883,595	316,405
旅費交通費支出	2,028,500	49,620	1,978,880
通信運搬費支出	678,200	507,608	170,592
消耗什器備品費支出	465,080	33,781	431,299
消耗品費支出	479,000	86,813	392,187
修繕費支出	175,000	55,000	120,000
印刷製本費支出	1,980,224	1,327,430	652,794
光熱水料費支出	85,000	74,485	10,515
賃借料支出	656,000	479,820	176,180
諸謝金支出	3,207,635	2,229,597	978,038
負担金支出	1,420,000	1,307,000	113,000
会議費支出	1,817,361	534,275	1,283,086
雑支出	50,000		50,000
会場費支出	1,279,000	152,330	1,126,670
会場設営費支出	2,600,000	1,410,200	1,189,800
研修費支出	30,000		30,000
図書費支出	21,000	20,816	184
退職給付引当資産支出	150,000		150,000
(2) 管理費支出			
役員報酬支出		1,290,000	△1,290,000
給料手当支出	4,660,000	3,575,858	1,084,142
臨時雇給与		453,600	△453,600
退職給付支出		124,800	△124,800
中退共掛け金		124,800	△124,800
福利厚生費支出	1,009,000	615,008	393,992
会議費支出	404,000	104,676	299,324
旅費交通費支出	644,000	13,690	630,310
通信運搬費支出	780,000	578,351	201,649
消耗什器備品費支出	100,000	79,875	20,125
消耗品費支出	325,600	150,024	175,576



## 収支計算書

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
修繕費支出	170,000		170,000
印刷製本費支出	200,000	63,756	136,244
光熱水料費支出	123,000	110,187	12,813
賃借料支出	394,000	387,588	6,412
火災保険料支出	30,000	33,750	△3,750
諸謝金支出	2,000,400		2,000,400
租税公課支出	31,000	23,200	7,800
負担金支出	400,000		400,000
支払手数料支出	788,000	315,394	472,606
報酬費支出		693,000	△693,000
諸会費支出	30,000		30,000
会場費支出	83,000		83,000
図書費支出	10,000		10,000
研修費	50,000		50,000
委託料支出	39,000	419,800	△380,800
交際費支出	200,000	202,000	△2,000
退職給付引当資産支出	150,000		150,000
事業活動支出計	36,743,000	23,034,063	13,708,937
事業活動収支差額	△8,935,000	6,181,163	15,116,163
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計			
2. 投資活動支出			
(2) 特定資産取得支出			
退職給付引当資産取得支出		300,000	△300,000
(3) 固定資産取得支出			
什器備品購入支出	100,000	347,950	△247,950
投資活動支出計	100,000	647,950	△547,950
投資活動収支差額	△100,000	△647,950	△547,950
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計			
2. 財務活動支出			
財務活動支出計			
財務活動収支差額			
IV 予備費支出	965,000		965,000
当期収支差額	△10,000,000	5,533,213	15,533,213
前期繰越収支差額	10,000,000	15,194,025	5,194,025
次期繰越収支差額		20,727,238	20,727,238



## 正味財産増減計算書

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	820,000	1,480,000	△660,000
新入会員入会金	820,000	1,360,000	△540,000
受取入会金		120,000	△120,000
受取会費	22,350,000	24,696,000	△2,346,000
正会員受取会費	20,781,000	23,472,000	△2,691,000
新入会員会費	1,429,000	1,224,000	205,000
賛助会員受取会費	140,000		140,000
事業収益	4,233,057	1,388,000	2,845,057
受託事業収益	645,057	344,000	301,057
研修会参加料収益	3,588,000	1,044,000	2,544,000
受取補助金等	1,763,500	1,884,200	△120,700
受取民間補助金		100,000	△100,000
受取民間助成金	1,763,500	1,784,200	△20,700
受取寄付金		100,000	△100,000
受取寄付金		100,000	△100,000
雑収益	48,882	459,368	△410,486
受取利息	522	740	△218
雑収益	48,360	458,628	△410,268
<b>経常収益計</b>	<b>29,215,439</b>	<b>30,007,568</b>	<b>△792,129</b>
(2) 経常費用			
<b>事業費</b>	<b>14,038,671</b>	<b>14,754,087</b>	<b>△715,416</b>
給料手当	4,397,536	5,536,743	△1,139,207
臨時雇賃金	86,400	6,720	79,680
退職給付費用	163,200	163,200	
福利厚生費	883,595	879,558	4,037
会議費	534,275	419,381	114,894
旅費交通費	49,620	26,820	22,800
通信運搬費	507,608	538,901	△31,293
減価償却費	239,165	352,623	△113,458
消耗什器備品費	33,781		33,781
消耗品費	86,813	100,596	△13,783
修繕費	55,000	55,000	
印刷製本費	1,327,430	1,984,923	△657,493
光熱水料費	74,485	83,638	△9,153
賃借料	479,820	566,928	△87,108
諸謝金	2,229,597	1,207,230	1,022,367
支払負担金	1,307,000	1,226,800	80,200
研修費		10,000	△10,000
会場費	152,330	172,700	△20,370
会場設営費	1,410,200	1,401,510	8,690
図書費	20,816	20,816	
<b>管理費</b>	<b>9,332,119</b>	<b>8,865,832</b>	<b>466,287</b>
役員報酬	1,290,000	1,270,000	20,000
給料手当	3,575,858	3,769,412	△193,554
臨時雇給与	453,600	35,280	418,320
退職給付費用	124,800	124,800	
福利厚生費	615,008	700,767	△85,759
会議費	104,676	205,896	△101,220
旅費交通費	13,690	20,060	△6,370
通信運搬費	578,351	574,193	4,158
減価償却費	97,562	123,682	△26,120

## 正味財産増減計算書

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
消耗什器備品費	79,875	5,990	73,885
消耗品費	150,024	146,329	3,695
修繕費		28,380	△28,380
印刷製本費	63,756	55,950	7,806
光熱水料費	110,187	116,355	△6,168
賃借料	387,588	369,472	18,116
保険料	33,750	33,750	
報酬費	693,000	693,000	
租税公課	23,200	22,750	450
支払負担金		400,000	△400,000
支払手数料	315,394	149,966	165,428
委託料	419,800	19,800	400,000
交際費	202,000		202,000
経常費用計	23,370,790	23,619,919	△249,129
評価損益等調整前当期経常増減額	5,844,649	6,387,649	△543,000
評価損益等計			
当期経常増減額	5,844,649	6,387,649	△543,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
固定資産売却損		17,209	△17,209
什器備品除却損		17,209	△17,209
経常外費用計		17,209	△17,209
当期経常外増減額		△17,209	17,209
税引前当期一般正味財産増減額	5,844,649	6,370,440	△525,791
当期一般正味財産増減額	5,844,649	6,370,440	△525,791
一般正味財産期首残高	30,458,260		30,458,260
一般正味財産期末残高	36,302,909	6,370,440	29,932,469
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高	1,458,693	1,458,693	
指定正味財産期末残高	1,458,693	1,458,693	
III 正味財産期末残高	37,761,602	7,829,133	29,932,469

正味財産増減計算書内訳表

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	理学療法士の職業倫理の高揚を図る	会員の福利厚生に関する事業	法人会計	合 計
<b>I. 一般正味財産増減の部</b>				
<b>1. 経常増減の部</b>				
(1) 経常収益				
受取入会金	410,000	50,000	360,000	820,000
新入会員入会金	410,000	50,000	360,000	820,000
受取会費	11,145,000	100,000	11,105,000	22,350,000
正会員受取会費	10,314,000	100,000	10,367,000	20,781,000
新入会員会費	691,000		738,000	1,429,000
賛助会員受取会費	140,000			140,000
事業収益	4,233,057			4,233,057
受託事業収益	645,057			645,057
研修会参加料収益	3,588,000			3,588,000
受取補助金等	1,763,500			1,763,500
受取民間助成金	1,763,500			1,763,500
雑収益	36,000		12,882	48,882
受取利息			522	522
雑収益	36,000		12,360	48,360
<b>経常収益計</b>	<b>17,587,557</b>	<b>150,000</b>	<b>11,477,882</b>	<b>29,215,439</b>
(2) 経常費用				
<b>事業費</b>	<b>14,013,671</b>	<b>25,000</b>		<b>14,038,671</b>
給料手当	4,397,536			4,397,536
臨時雇賃金	86,400			86,400
退職給付費用	163,200			163,200
福利厚生費	858,595	25,000		883,595
会議費	534,275			534,275
旅費交通費	49,620			49,620
通信運搬費	507,608			507,608
減価償却費	239,165			239,165
消耗什器備品費	33,781			33,781
消耗品費	86,813			86,813
修繕費	55,000			55,000
印刷製本費	1,327,430			1,327,430
光熱水料費	74,485			74,485
賃借料	479,820			479,820
諾謝金	2,229,597			2,229,597
支払負担金	1,307,000			1,307,000
会場費	152,330			152,330
会場設営費	1,410,200			1,410,200
図書費	20,816			20,816
<b>管理費</b>			<b>9,332,119</b>	<b>9,332,119</b>
役員報酬			1,290,000	1,290,000
給料手当			3,575,858	3,575,858
臨時雇給与			453,600	453,600
退職給付費用			124,800	124,800
福利厚生費			615,008	615,008
会議費			104,676	104,676
旅費交通費			13,690	13,690
通信運搬費			578,351	578,351
減価償却費			97,562	97,562
消耗什器備品費			79,875	79,875
消耗品費			150,024	150,024
印刷製本費			63,756	63,756
光熱水料費			110,187	110,187

(単位:円)



正味財産増減計算書内訳表

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科目	理学療法士の職業倫理の高揚を図る	会員の福利厚生に関する事業	法人会計	合計
賃借料			387,588	387,588
保険料			33,750	33,750
報酬費			693,000	693,000
租税公課			23,200	23,200
支払手数料			315,394	315,394
委託料			419,800	419,800
交際費			202,000	202,000
経常費用計	14,013,671	25,000	9,332,119	23,370,790
評価損益等調整前当期経常増減額	3,573,886	125,000	2,145,763	5,844,649
評価損益等計				
当期経常増減額	3,573,886	125,000	2,145,763	5,844,649
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計				
(2) 経常外費用				
経常外費用計				
当期経常外増減額				
税引前当期一般正味財産増減額	3,573,886	125,000	2,145,763	5,844,649
当期一般正味財産増減額	3,573,886	125,000	2,145,763	5,844,649
一般正味財産期首残高	△1,734,602	987,176	31,205,686	30,458,260
一般正味財産期末残高	1,839,284	1,112,176	33,351,449	36,302,909
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高			1,458,693	1,458,693
指定正味財産期末残高			1,458,693	1,458,693
III 正味財産期末残高	1,839,284	1,112,176	34,810,142	37,761,602

(単位:円)

財 産 目 録

令和4年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金預金			35,997,422
普通預金	鹿児島銀行 川辺支店	運転資金	35,997,422
仮払金			289,360
流動資産合計			36,286,782
(固定資産)			
基本財産			
特定資産			
退職給付引当資産	鹿児島銀行 川辺支店	職員の退職金支払いの財源として積み立てている	3,818,989
事務局開設積立資産	鹿児島銀行 川辺支店	固定資産取得のための積立資産であり、資産取得資金として管理されている	14,713,751
その他固定資産			
什器備品	パソコン他	公益目的保有財産であり、各事業及び管理業務で使用している共有財産である	3,324,975
減価償却累計額(その他) △			2,794,821
電話加入権		公益目的保有財産であり、各事業及び管理業務で使用している共有財産である	72,618
固定資産合計			19,135,512
資産合計			55,422,294
(流動負債)			
未払金	顧問会計士ほか	顧問料未払分ほかである	632,088
前受金	会員	来期分の会費である	14,814,000
預り金	職員に係るもの	職員2名の社会保険料、源泉所得税の預りである	115,217
流動負債合計			15,561,305
(固定負債)			
退職給付引当金	職員に係るもの	職員2名に対する退職金の支払いに備えた引当金	2,099,387
固定負債合計			2,099,387
負債合計			17,660,692
正味財産			37,761,602

## 財務諸表に対する注記

### 2. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし

#### (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当なし

#### (3) 固定資産の減価償却の方法

什器備品については、定率法による減価償却を実施している。

ソフトウェアについては、定額法による減価償却を実施している。

#### (4) 引当金の計上基準

退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき当期末期末において発生していると認められる額を計上している。

#### (5) 資金収支計算書における資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収会費、未収金、未払金、前受金および預り金を含む。

#### (6) 消費税等の会計処理

該当なし

### 17. その他

該当なし

## 公益社団法人鹿児島県理学療法士協会 令和3年度監査報告書

令和4年6月18日、事業ならびに会計監査を鹿児島県理学療法士協会事務局にて行いました。その結果、公益活動も可能と思われる範囲で行われ、事務局活動、理事会活動、各部活動及び学術活動等の記録・資料も適正に保存されていました。

会計監査につきましては、領収証及び会計簿他明細書を調査しました。その結果、領収書や通帳残高等会計は遺漏なく、適正に処理されていました。

次年度も引き続き、活発な活動にて、理学療法の学術および技能の向上を推進し、県民の皆様の医療および保健の充実ならびに福祉の向上に貢献されることをお願いします。

以上、監査報告といたします。

令和4年6月18日

監事 竹田 寛



監事 村山 芳博





## 2021年度 一般社団法人鹿児島県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連絡協議会 事業報告

### 【事業の部】

#### 1. 地域リハビリテーション活動研修会

##### ① 地域ケア会議推進リーダー導入研修会

「地域包括ケアシステムについて」「地域ケア会議に求められる理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の役割」「模擬会議の実際と心構え（グループ討議）」

Zoomによるオンライン講座

10月23日参加者34名(PT13・OT9・ST12)

R4年2月26日参加者17名(PT9・OT7・ST1)

##### ② 介護予防推進リーダー養成導入研修会

「介護予防事業に関連する行政組織・関連団体と福祉計画」「介護予防事業における理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の展開方法」

Zoomによるオンライン講座

10月24日参加者33名(PT11・OT9・ST113)

R4年2月27日参加者16名(PT9・OT6・ST1)

#### 2. 訪問リハ研修会

Zoomによるオンライン講座 実務者研修 講師6名

10月29日30日参加者33名(PT24・OT6・ST3)

#### 3. 人材派遣・相談事業

イオンのわくわくウォーキングの講師派遣 12回

鹿児島市地域リハビリテーション支援事業

お達者クラブ等 225回(PT157・OT39・ST29) 参加者 3,490人

よかよか元気クラブ 471回(PT517・OT45) 参加者 5,383人

ボランティア等への講師 1回(PT1)

個別相談 2回(PT2)

鹿児島市介護予防地域ケア会議 3地区4回(PT12・OT12・ST12)

鹿屋市地域リハビリテーション活動支援事業 18回(PT18)参加者219人

始良市地域ケア個別会議 (PT3・OT3・ST3)推薦

#### 4. 災害リハに関する事業

鹿児島市災害時の情報伝達訓練 1回

調整会議 1回

#### 5. 鹿児島県リハビリテーション専門職派遣事業

各市町村へのPT・OT・STの派遣事業 5回(PT3・OT・ST1)

### 【管理の部】

会員数4,253名(PT2581名・OT1140名・ST532名)2021年3月31日現在

公文書の発送

理事会・総会の開催

収支報告書の作製

一般社団法人鹿児島県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連絡協議会  
令和3年度収支決算書

自:令和3年4月1日 至:令和4年3月31日

科 目	予算現額	決算額	差 異	備 考
I 収入の部				
1 受取負担金				
士会負担金				
2 受取会費				
会費	439,000	438,400	△ 600	¥100*4,384名 (PT2,635・OT1,236・ST513)
3 事業収益				
委託事業収益	7,452,400	8,197,532	745,132	地域リハビリテーション支援事業(鹿児島市・鹿屋市)・県リハ専門職派遣・イオンわくわくウォーキング教室
研修会事業収益	600,000	266,000	△ 334,000	訪問リハ、リーダー研修会
4 雑収益				
受取利息		100	100	預金利息等
当期収入合計(A)	8,491,400	8,902,032	410,632	
前期繰越収支差額	8,150,000	8,637,800	487,800	
収入合計(B)	16,641,400	17,539,832	898,432	
II 支出の部				
1 事業費				
諸謝金	6,378,360	6,844,528	466,168	
会議費	150,000	278,640	128,640	日当等
賃借料	250,000	144,000	△ 106,000	事務所賃借料 12000/月(R2.6月～)
通信運搬費	80,000	504	△ 79,496	
ソフトウェア	100,000		△ 100,000	
消耗什器備品費	100,000	31,978	△ 68,022	
印刷製本費	80,000		△ 80,000	
消耗品費	50,000		△ 50,000	
旅費交通費	150,000	114,190	△ 35,810	
人件費	464,000	26,600	△ 437,400	
委託費	464,640	406,560	△ 58,080	リハケアそぞう等
負担金	100,000	100,000	0	鹿児島県災害時リハビリテーション推進協議会
事業費合計	8,367,000	7,947,000		
2 管理費				
渉外費	50,000		△ 50,000	
印刷製本費	50,000		△ 50,000	
通信運搬費	200,000	157,035	△ 42,965	電話代・切手代・かぎんFB基本料等
福利厚生費	50,000	16,200	△ 33,800	慶弔費等
什器備品費	100,000		△ 100,000	
修繕費	50,000	46,200	△ 3,800	ホームページ管理更新料
消耗什器備品費	69,000		△ 69,000	
消耗品費	80,000	18,347	△ 61,653	
賃借料	150,000	96,000	△ 54,000	事務所賃借料 8000/月(R2.6月～)
光熱水費	30,000		△ 30,000	
旅費交通費	80,000		△ 80,000	
人件費	2,436,000	139,650	△ 2,296,350	
諸謝金	50,000		△ 50,000	
租税公課	100,000	72,850	△ 27,150	県・市民税・印紙代
支払手数料	200,000	78,409	△ 121,591	振込手数料 登記手数料
会議費			0	理事・代議員日当
管理費合計	3,695,000	624,691		
3 予備費	4,579,400	0	△ 4,579,400	
当期支出合計(C)	16,641,400	8,571,691	△ 8,069,709	
当期収支差額(A)-(C)	△ 8,150,000	330,341	8,480,341	
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	8,968,141	8,968,141	

### 貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	8,548,969	8,015,192	533,777
未収金	419,172	754,396	△ 335,224
流動資産合計	8,968,141	8,769,588	198,553
2. 固定資産			
(1)基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2)特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3)その他固定資産			
有形固定資産	0	0	0
什器備品	3	76,887	△ 76,884
無形固定資産	2	65,001	△ 64,999
その他固定資産合計	5	141,888	△ 141,883
固定資産合計	5	141,888	△ 141,883
資産合計	8,968,146	8,911,476	56,670
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金		734,269	△ 734,269
前受金	0	0	0
預り金	0	0	0
流動負債合計	0	734,269	△ 734,269
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	734,269	△ 734,269
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
寄附金	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	8,968,146	8,177,207	790,939
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	8,968,146	8,177,207	790,939
負債及び正味財産合計額	8,968,146	8,911,476	56,670



## 財 産 目 録

令和3年3月31日現在

(単位：円)

科 目	場所・物量等	使用目的等	金額
1. 流動資産			
現金	鹿児島県POS連絡協議	運転資金	8,096
預金	鹿児島銀行県庁支店	運転資金	8,340,773
	鹿児島銀行県庁支店	研修参加費徴収	200,100
未収金			419,172
流動資産合計			8,968,141
2. 固定資産			
(1)基本財産			
(2)特定資産			
(3)その他固定資産			
有形固定資産			
什器備品	パソコン2台・エアコン	各事業及び管理業務で使用している共有財産である。	2
無形固定資産	ソフトウェア	ホームページ作成ソフト	3
固定資産合計			5
資産合計			8,968,146
1. 流動負債			
未払金			0
前受金			
預り金			
流動負債合計			0
2. 固定負債			
固定負債合計			0
負債合計			0
正味財産			8,968,146

### 正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	昨年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息			
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息			
③ 受取負担金			
士会負担金			0
④ 受取会費			
会費	438,400	441,000	△ 2,600
⑤ 事業収益			
委託事業収益	8,197,532	7,558,960	638,572
研修会事業収益	266,000	332,000	△ 66,000
⑥ 雑収益			
受取利息	100	89	11
経常収益計	8,902,032	8,332,049	569,983
(2) 経常費用			
① 事業費			
諸謝金	6,844,528	6,480,759	363,769
会議費	278,640	99,680	178,960
賃借料	144,000	132,000	12,000
通信運搬費	504	10,950	△ 10,446
減価償却費	55,140	48,386	6,754
印刷製本費			0
消耗什器備品費	31,978		
消耗品費		8,756	△ 8,756
旅費交通費	114,190	5,288	108,902
人件費	26,600	39,480	△ 12,880
委託費	406,560	193,600	212,960
負担金	100,000	100,000	0
② 管理費			
諸謝金			
渉外費			0
印刷製本費			0
通信運搬費	157,035	101,950	55,085
福利厚生費	16,200	16,200	0
減価償却費		38,357	△ 38,357
消耗什器備品費			0
消耗品費	18,347	280	18,067
修繕費	46,200	46,200	0
光熱水費			0
賃借料	96,000	88,000	8,000
旅費交通費		480	△ 480
人件費	139,650	207,270	△ 67,620
租税公課	72,850	73,350	△ 500
支払手数料	78,409	61,325	17,084
会議費		64,000	△ 64,000
経常費用計	8,626,831	7,816,311	810,520
評価損益等調整前登記経常増減額	275,201	515,738	△ 240,537
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益計	0	0	0
当期経常増減額	275,201	515,738	△ 240,537
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	275,201	515,738	△ 240,537
一般正味財産期首残高	8,692,945	8,177,207	515,738
一般正味財産期末残高	8,968,146	8,692,945	275,201
II 指定正味財産増減の部			
① 受取寄附金			
受取寄附金	0	0	0
当期正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	8,968,146	8,692,945	275,201

一般社団法人 鹿児島県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士  
連絡協議会  
令和3年度監査報告書

令和4年6月10日、事業ならびに会計監査を一般社団法人 鹿児島県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連絡協議会事務局にて行いました。その結果、活動も活発に行われ、事務局活動、理事会活動の記録・資料も適正に保存されていました。

会計監査につきましては、領収証及び会計簿他明細書を調査しました。その結果、領収書や通帳残高等会計は遺漏なく、適正に処理されていました。

次年度も引き続き、活発な活動にて、貢献されることをお願いします。

以上、監査報告といたします。

令和4年6月10日

監事 村山 芳博



監事 松尾 康弘



監事 安藤 千恵





**2022 年度**  
**一般社団法人鹿児島県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連絡協議会**  
**事業計画**

**【事業の部】**

1. 地域リハビリテーション活動研修会

① 地域ケア会議推進リーダー導入研修会

「地域包括ケアシステムについて」「地域ケア会議に求められる理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の役割」「模擬会議の実際と心構え（グループ討議）」

② 介護予防推進リーダー養成導入研修会

「介護予防事業に関連する行政組織・関連団体と福祉計画」「介護予防事業における理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の展開方法」

2. 訪問リハ研修会

3. 人材派遣・相談事業

イオンのわくわくウォーキングの講師派遣

鹿児島市地域リハビリテーション支援事業

お達者クラブ等

よかよか元気クラブ

ボランティア等への講師

個別相談

鹿児島市介護予防地域ケア会議 3 地区

鹿屋市地域リハビリテーション活動支援事業

始良市地域ケア個別会議

4. 災害リハに関する事業

鹿児島市災害時の情報伝達訓練 1 回

5. 鹿児島県リハビリテーション専門職派遣事業

**【管理の部】**

会員数管理

公文書の発送

理事会・総会の開催

収支報告書の作製

一般社団法人鹿児島県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連絡協議会  
令和4年度収支予算書(案)

自:令和4年4月1日 至:令和5年3月31日

	予算額	昨年度予算額	備 考
I 収入の部			
1 受取負担金			
士会負担金			
2 受取会費			
会費	425,300	439,000	¥100*4,253名 (PT2581名・OT1140・ST532)
3 事業収益			
委託事業収益	8,200,000	7,452,400	鹿児島市地域リハ支援事業 県リハ専門職派遣事業 イオンわくわくウォーキング教室
研修会事業収益	600,000	600,000	訪問リハ・リーダー研修会各2回ずつ、ステップアップ研修会6回開催
4 雑収益			
受取利息	100		預金利息等
当期収入合計(A)	9,225,400	8,491,400	
前期繰越収支差額	8,968,141	8,150,000	
収入合計(B)	18,193,541	16,641,400	
II 支出の部			
1 事業費			
諸謝金	7,000,000	6,378,360	
会議費	300,000	150,000	日当等
賃借料	250,000	250,000	会場費
通信運搬費	80,000	80,000	
ソフトウェア	100,000	100,000	会計ソフト
什器備品費	100,000	100,000	
印刷製本費	80,000	80,000	資料印刷代
消耗品費	50,000	50,000	
旅費交通費	150,000	150,000	
人件費	480,000	464,000	
委託費	464,640	464,640	リハケアそうぞう 等
負担金	200,000	100,000	災害時リハビリテーション推進協議会
事業費合計	9,254,640	8,367,000	
2 管理費			
渉外費	50,000	50,000	講師接待費
印刷製本費	50,000	50,000	封筒・名刺代
通信運搬費	200,000	200,000	電話代・切手代等
福利厚生費	50,000	50,000	慶弔費等
什器備品費	100,000	100,000	パソコン代等
修繕費	50,000	50,000	備品代等
消耗什器備品費	69,000	69,000	
消耗品費	80,000	80,000	
賃借料	150,000	150,000	
光熱水費	30,000	30,000	
旅費交通費	80,000	80,000	
人件費	2,520,000	2,436,000	
諸謝金	50,000	50,000	登記料
租税公課	100,000	100,000	県・市税・印紙代
支払手数料	200,000	200,000	FB基本料金代その他振り込み手数料等
雑費			
管理費合計	3,779,000	3,695,000	
3 予備費	5,159,901	4,579,400	
当期支出合計(C)	18,193,541	16,641,400	
	△ 8,968,141	△ 8,150,000	
次期繰越収支差額(B) - (C)	0	0	

## 第 36 回 鹿児島県理学療法士学会演題募集要項

学 会 長 鈴東 伸洋

学会準備委員長 野間口 猛

謹啓 時下ますますご健勝の事とお慶び申し上げます。

さて、第 36回鹿児島県理学療法士学会を令和 5年2月19日(日)、オンライン形式で開催する運びとなりました。つきましては多数の応募をお願いしたく、以下の要領にてご案内いたします。

演題応募についてご不明な点は以下のお問い合わせ先までお問い合わせください。

### 演題募集要項

#### I. 応募資格

公益社団法人鹿児島県理学療法士協会会員に限りません。

#### II. 応募方法

1. E-mail にて下記の応募記載項目を記載し、演題原稿ファイルを添付して送信してください。演題原稿ファイルにつきましては、「IV」の作成要領に従って作成してください。E-mail を利用できない場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

2. 送られてきたメールのアドレスを今後の連絡用メールアドレスとして使用させていただきます。連絡用に別な連絡用アドレスを希望される場合はその旨をメールに記入してください。

3. E-mail 受信後 1 週間以内に受信確認の返信メールをお送りします。1 週間経っても返信メールが届かない場合はお手数ですが以下のお問い合わせ先までお問い合わせください。

#### 4. 応募記載項目

メールタイトル:「第36回県学会演題応募」

①発表演者氏名、氏名フリガナ、会員番号、所属施設

②演題タイトル

③演題分類番号

(以下の演題分類表より選択してください)

01. 基礎理学療法 02. 神経理学療法

03. 運動器理学療法 04. 内部障害理学療法

05. 生活環境支援理学療法 06. 物理療法

07. 教育・管理理学療法 08. その他

なお、発表形式は学会長の判断で決定致しますので、ご了承ください。

#### III. 演題応募期間(期間厳守)

令和 4 年 8 月 22 日(月)14:00 から

令和 4 年 10 月 14 日(金)14:00 まで

#### IV. 演題原稿ファイル作成要領

1. 原稿のファイル形式は Microsoft Word 形式とします。フォント:MS 明朝、サイズ:10.5 で作成してください。

2. 演題タイトル、氏名、所属施設、本文の順番に改行して記載してください。

3. 氏名は発表演者を先頭にし、発表演者名の前には○を付けてください。

4. 共同演者は筆頭演者の後ろに記載し、各氏名の間にはスペースを付けてください。

5. 所属施設が複数ある場合には、氏名の後ろに番号を振り、番号順に改行して記載してください。

6. 本文(演者名・所属を除く)の文字数は 1400字以内を厳守してください

7. 本文には【目的】・【方法】・【結果】・【考察】・【まとめ】  
【倫理に関する記述】等の小見出しを付けてください。

8. 図表は使用しないでください

なお、学会誌のフォント、レイアウト等は学会側で調整させていただきます。



## V. 応募上の注意

1. 応募された演題と学会当日の発表内容が大幅に異なることのないようにしてください。
2. 発表者として複数の演題を応募することは認められません。1人1演題を遵守してください。
3. 共同演者も原則として本会会員に限りませんが、会員以外の共同演者である場合は、その主体が本会会員であることが必要です。
4. 本文中に研究対象にとって不利益となるような属性(人名、施設名等)を記載しない等、プライバシーポリシーに配慮してください。
5. 演題原稿に関する著作権は第36回鹿児島県理学療法士学会および筆頭演者に帰属し、学会誌へ掲載されます。
6. 採択後の演題取り消しはできませんので、ご注意ください。
7. 発表者が発表できない場合は必ず共同演者(本会会員)が発表を行ってください。

## VI. 応募演題に関する倫理と利益相反に関する注意

- ヘルシンキ宣言等(倫理的な配慮)に沿った研究であることを確認し、説明と同意や個人情報の保護などの倫理的な配慮に関する記述をしてください。
  - 厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」をよく理解して対応してください。
  - 必ず本文中の【倫理に関する記述】欄を設け倫理に関する記述をしてください。記述がない場合は取り下げることがあります。
  - 倫理委員会の承認を得ている場合には、承認番号を記載してください。
  - 研究対象にとって不利益となるような属性(人名、施設名等)を記載しない等、プライバシーポリシーに十分配慮してください。
  - 利益相反の可能性のある事項(寄付金など)がある場合、研究助成がある場合はその旨を明記してください。
  - これらについては、すべて登録者の自己責任において登録を行ってください。
- ※上記の注意点の記載に不備がある場合は演題不採択となる場合があります。

## VII. 発表形式について

1. 発表形式は学会長の判断で口述発表と致します。
2. 発表時間は7分以内、質疑応答は3分以内とします。(演題数により変更される場合があります。)
3. 口述発表スライド作成要領
  - 1) PC プレゼンテーションを使用し、ファイル形式はMicrosoft Power point 形式とし、スライド枚数は発表時間内であれば特に制限を設けません。
  - 2) 動画及びアニメーションは使用できませんのでご注意ください。

## VIII. 演題審査

演題の採択は学会の査読委員による結果を参考に、学術的発表に資する演題と学会長が判断したものから選出し決定します。採否結果通知は12月中旬頃を予定しています。

## IX. 生涯学習ポイント認定について(筆頭演者のみ)

認定・専門理学療法士の更新要件である、「都道府県理学療法士学会での一般発表の筆頭演者」または、4.学会での発表等 4-1) 都道府県理学療法士学会での一般発表の筆頭演者:履修点数20点のいずれかを選択できます。

後期研修のE1~3 職域別研修(事例)は1 症例の発表時間が30分以上を推奨のため、今大会の発表ポイントには適応されません。

## X. 応募先およびお問い合わせ先

第36回鹿児島県理学療法士学会  
準備委員長 野間口 猛(ノマグチ タケシ)  
(川内市医師会立市民病院)

E-mail: kkpta36gakkai@gmail.com

TEL:0996-22-1111

## 第1回 始良地区研修会 報告

始良地区担当理事 弥栄 博文  
始良地区長 増山 泰英

日時：令和4年 6月 14日(火) 19:00~20:00 Web開催(ZOOM)

参加者:82名

テーマ：『本当に大変？ 登録理学療法士制度』

講師：鹿児島県理学療法士協会 生涯学習担当理事  
鹿児島医療福祉専門学校 白尾 麻美先生

カリキュラムコード:159 『スタッフ教育と教育システム』

講義概要:今回、初めて新生涯学習システムに対応した形で研修会を開催しました。登録理学療法士制度についての内容という事もあり、多くの会員が参加することが予測されていましたが、Web研修会という参加しやすい環境も重なり、予想を上回る82名の会員に参加して貰えました。

内容としては、県士会で生涯学習担当理事である白尾先生に新生涯学習システム 特に登録理学療法士制度に関する内容や専門・認定理学療法士制度の更新についての理解が深められるわかりやすい内容でした。

今年度も、よりよい研修会が開催できるように、始良地区運営スタッフ一同頑張っていきたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。



## 第1回 南薩地区 研修会・症例検討会 報告

南薩地区長 馬場病院 原野信人

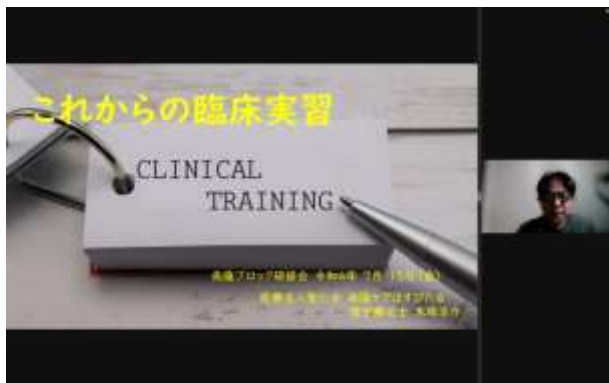
7月15日に今年度第1回目の研修会と症例検討会を開催致しました。研修会には35名、症例検討会には44名のご参加を頂きました。

今年度より新生涯学習制度が始まり、南薩地区では6回(7～12月各1回)の研修会を予定しております。また、各研修会後に症例検討会(1症例)を予定しております。

今回の研修会は、南薩ケアほすびたるの木場涼介先生に「これからの臨床実習」をテーマにお話をして頂きました。ここまでの経緯やこれからの臨床実習のあり方と木場先生の取り組みを踏まえ、学生はもちろん指導する側の理学療法士の成長と組織の成熟につながるヒントを得ることができました。木場先生有難うございました。

症例検討会は従来よりも長時間の設定となっております。30分間の中でより深い情報提供・意見交換が行われました。Web開催ならではの課題もありましたが、座長・発表者・ご参加の先生方の御協力を頂きながら実施することができました。今後も意見交換のしやすい雰囲気づくりに努めて参ります。

南薩ブロックでは地区リーダーの先生方と協力しながら、地区研修会・症例検討会を通じて会員の皆様の研鑽の場を提供できればと考えます。今後も会員の皆様のご参加をお願い致します。





## 2022年度 奄美地区研修会・症例検討会のお知らせ

鹿児島・奄美地区担当理事 弓場 裕之 白木 信義 有村 宣彦  
奄美地区長 當田 直哉

### 2022年度 第1回奄美地区研修会のお知らせ

2022年度奄美地区研修会についてご案内申し上げます。第1回の奄美地区研修会は運動器認定理学療法士 幸田 康宏 先生 をお招きして『腰痛に対する理学療法の展開』というテーマで、ハイブリッド形式にて行わせて頂きたいと存じます。参加者の皆様には、コロナ感染予防対策の徹底に、ご理解ご協力を宜しくお願い致します。奄美地区会員の皆様のご参加をお願い申し上げます。

#### 【 第1回奄美地区研修会 】

日 時 : 2022年9月3日(土)14:00~17:00

場 所 : デイサービス和月龍郷

研修会テーマ : 『腰痛治療の臨床推論』

講師 : 幸田 康宏 先生 (名瀬徳洲会病院) 運動器認定理学療法士

研修会参加の締め切り : 令和4年8月29日(月)

#### 【 研修会参加申し込み方法 】\* : 参加には事前申し込みが必要です。

申し込み先 : 奄美市笠利国民健康保険診療所 當田 直哉 E-mail : amami.pta@gmail.com

E-mailに件名「第1回奄美地区研修会」と下記事項を明記しお申込みください。申し込み確認いたしましたらメールにて申し込み受付完了の返信をいたします。返信がない場合にはお手数ですが再度お問い合わせください。

① 氏名・フリガナ ② 勤務先 ③ 生年月日(西暦) ④ 会員番号(8ケタ)

⑤ 参加方法を、「対面式受講」の「リモート式受講」どちらで参加されるか記載

\* : 対面式受講を希望される方は、緊急時に連絡が取れる携帯番号の記載もしてください。

⑥ 「登録更新ポイント」「認定・専門更新点数」どちらのポイント加算登録をするか記載

⑦ 2022年度会費納入について(未納の場合は受講できません)

#### 【 履修ポイントについて 】\* 前期・後期研修受講中の場合、付与はありません。

カリキュラムコード88 運動器疾患の理学療法 3ポイント(180分)

#### 【 コロナ感染予防対策の徹底について 】

日本理学療法士協会の拡大予防ガイドラインに従って研修会を行います。申し込みメール返信時に、感染対策予防の案内をお送りいたします。ご理解ご協力よろしくお願い致します。

## 2022 年度 奄美地区症例検討会のお知らせ

2022年度 奄美地区症例検討会についてご案内申し上げます。

会員の皆様の多数のご参加をお願い申し上げます。

【 奄美地区症例検討会 E-1:神経系 E-2:運動器系 E-3:内部障害系理学療法学 】

日 時 :2023 年 1 月 27 日(金)19:00～

場 所 :Webにて開催予定(ZOOMにて開催予定)

\*症例検討会参加の締め切り :令和 5年 1月 20 日 (金)

【 症例検討会演題募集について 】

発表を希望される方は募集要項を参考しお申し込みください。

講義テーマ【 E-1神経系理学療法学、E-2運動器系理学療法学、E-3内部障害系理学療法学 】を選択ください  
症例発表者の事前登録の方は必ず令和4年12月23日(金)までのエントリーをお願いいたします。

(12月23日までに抄録等やスライドが完成していなくても登録が必要です)

\*:発表者は必ず施設の倫理委員会の審査もしくは所属長の許可を得て発表するようお願いいたします。

【 症例検討会発表・参加申し込み方法 】 発表・参加ともに事前申し込みが必要です。

申し込み先: 奄美市笠利国民健康保険診療所 当田 E-mail:amami.pta@gmail.com

E-mail に件名「奄美地区症例検討会 申し込み」と明記し、参加者は①～⑤を記入ください。

発表者は、①～⑥を記入ください。

① 氏名・フリガナ ② 勤務先 ③ 生年月日(西暦) ④ 会員番号(8 ケタ)

⑤ 2022 年度会費納入について(未納の場合は受講できません)

⑥ 講義テーマ選択【 E-1神経系理学療法学、E-2運動器系理学療法学、E-3内部障害系理学療法学 】

【 発表について 】

・レジュメA4サイズを事前に提出して頂く形になります。

・発表時間に制限はありませんが、発表質疑応答含め30分となります。

【 参加について 】

・開催2～3日前には、zoom ID パスワードを申し込みメールに送信いたします。連絡がない場合は、お問い合わせください。

【 履修コマ数について 】\*後期研修・前期研修D-2受講中の場合、付与されます。

・発表者は、1回発表で1コマとなります。

・参加者は、聴講が3回で1コマの対象となります。

ご不明な点は下記までお問い合わせ下さい。

奄美市笠利国民健康保険診療所 リハビリテーション科 当田 直哉(トウダ ナオヤ)

TEL:0997-63-0011 E-mail:amami.pta@gmail.com

## 2021年度 介護報酬改定影響調査結果報告

広報・調査担当理事 湯地 英充  
調査資料部長 福永 裕樹

対象:施設代表者

期間:2022年4月6日(水)～5月13日(金)

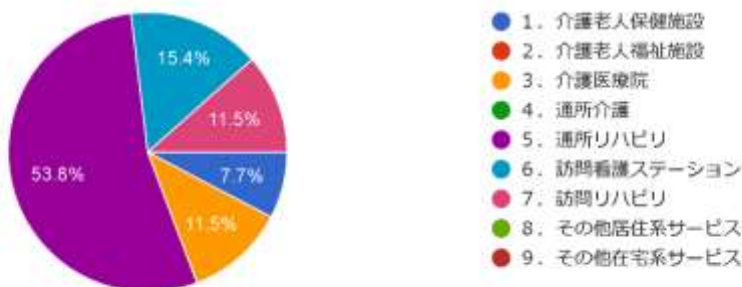
方法:google フォーム

### Q1. 回答者施設

あなたが主に所属している介護保険施設はどこですか？

回答者情報 1. あなたが主に所属している介護保険施設はどこですか？

26 件の回答



### Q2. リハビリテーションマネジメントの強化について(通所リハ)

リハビリテーションマネジメント加算について、算定状況をお答えください。

2. リハビリテーションマネジメントの強化につ...ント加算について、算定状況をお答えください。

22 件の回答

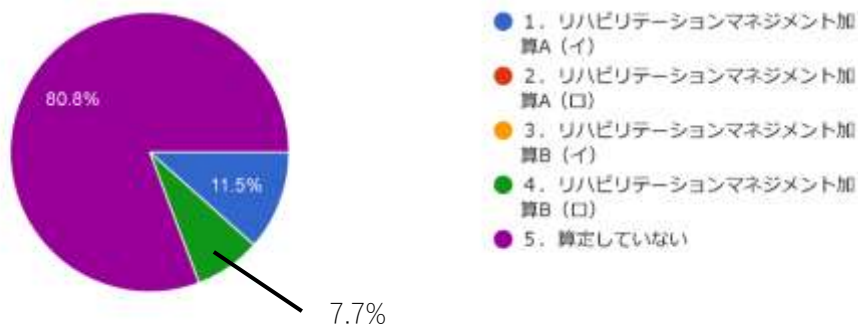




Q3. リハビリテーションマネジメントの強化について(訪問リハ)

リハビリテーションマネジメント加算について、算定状況をお答えください。

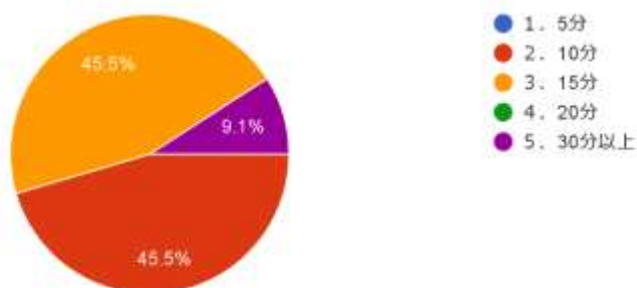
3. リハビリテーションマネジメントの強化につ...ント加算について、算定状況をお答えください。  
26 件の回答



Q4. リハビリテーションマネジメント加算を取得している事業所のみ、お答えください。

リハビリ会議の一人当たりの平均開催時間についてお答えください。(訪問リハ、通所リハ)

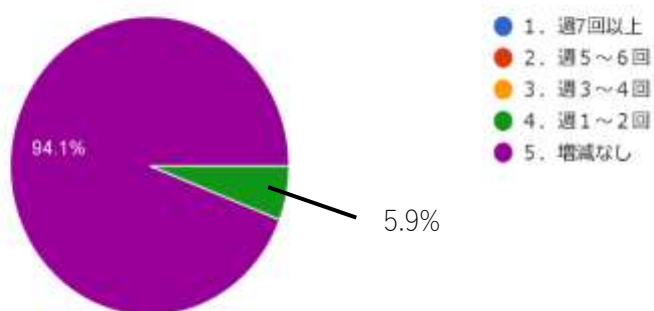
4. リハビリテーションマネジメント加算を取得...についてお答えください。(訪問リハ、通所リハ)  
11 件の回答



Q5. 退院退所直後のリハの充実について(訪問リハビリ)

退院・退所直後のリハビリテーションの回数について、改定前との週当たりの回数の増減はありましたか？

5. 退院退所直後のリハの充実について (訪問リ...定前との週当たりの回数の増減はありましたか？  
17 件の回答

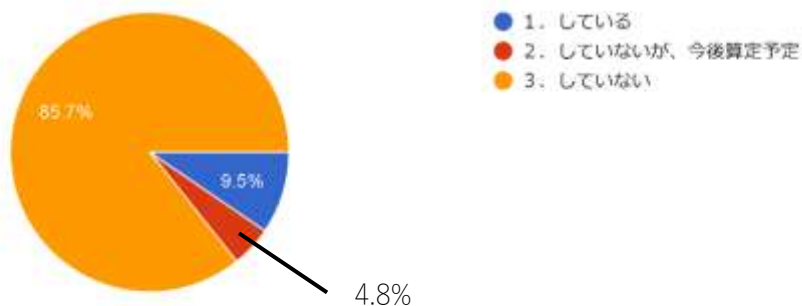


Q6. 社会参加支援加算の見直し(通所リハビリ)

移行支援加算を算定していますか。

6. 社会参加支援加算の見直し(通所リハビリ) 移行支援加算を算定していますか。

21件の回答

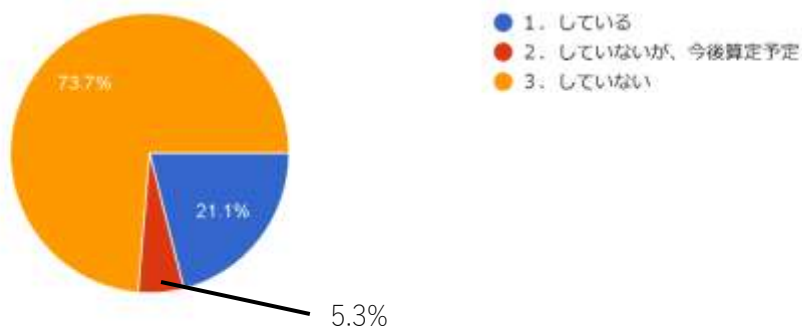


Q7. 社会参加支援加算の見直し(訪問リハビリ)

移行支援加算を算定していますか。

7. 社会参加支援加算の見直し(訪問リハビリ) 移行支援加算を算定していますか。

19件の回答

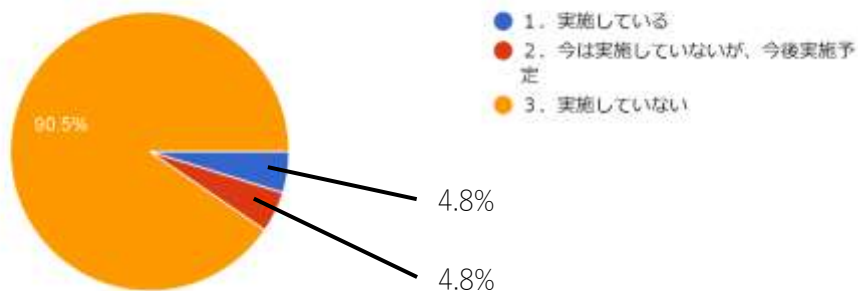


Q8. 生活行為向上リハビリテーション実施加算の見直し(通所リハビリ)

生活行為向上リハビリテーションを実施、算定していますか？

8. 生活行為向上リハビリテーション実施加算の...リハビリテーションを実施、算定していますか？

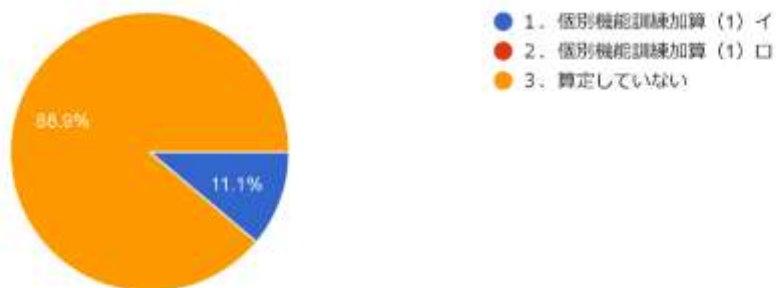
21件の回答



Q9. 機能訓練の取り組み強化(通所介護)

個別機能訓練加算を算定していますか？取得している場合は、どちらを算定していますか。

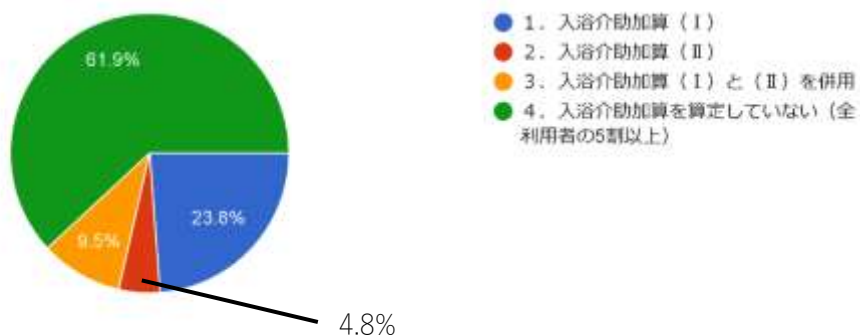
9. 機能訓練の取り組み強化(通所介護) 個別...得している場合は、どちらを算定していますか。  
9件の回答



Q10. 入浴介助の取り組み強化(通所介護、通所リハビリ)

入浴介助加算を算定していますか？

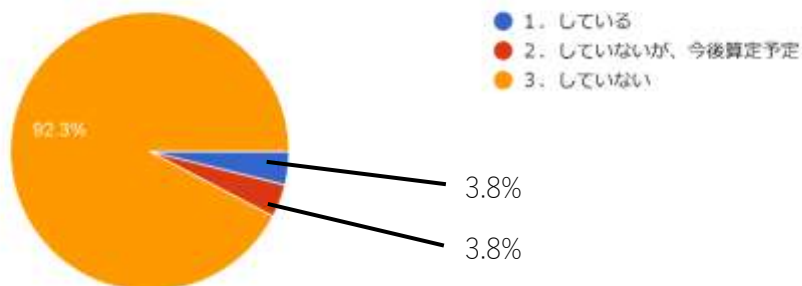
10. 入浴介助の取り組み強化(通所介護、通所リハビリ) 入浴介助加算を算定していますか？  
21件の回答



Q11. 口腔衛生の管理や栄養ケア・マネジメントの強化(施設系サービス)

栄養マネジメント強化加算を算定していますか？

11. 口腔衛生の管理や栄養ケア・マネジメント...栄養マネジメント強化加算を算定していますか？  
26件の回答

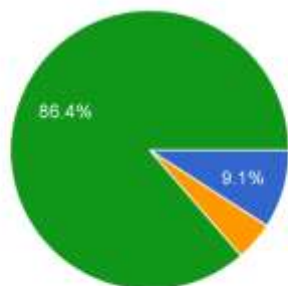




Q12. 口腔衛生の管理や栄養ケア・マネジメントの強化(通所系サービス、多機能系サービス、居住系サービス) 口腔・栄養スクリーニング加算を算定していますか？

1 2. 口腔衛生の管理や栄養ケア・マネジメント...・栄養スクリーニング加算を算定していますか？

22 件の回答

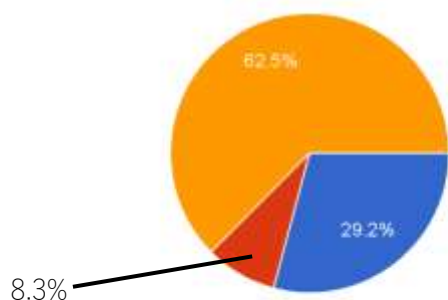


- 1. 口腔・栄養スクリーニング加算 (I)
- 2. 口腔・栄養スクリーニング加算 (II)
- 3. 口腔・栄養スクリーニング加算 (I)と(II)を併用
- 4. 口腔・栄養スクリーニング加算を算定していない

Q13. 科学的介護の推進について LIFE 関連の加算を算定していますか？

1 3. 科学的介護の推進について LIFE関連の加算を算定していますか？

24 件の回答

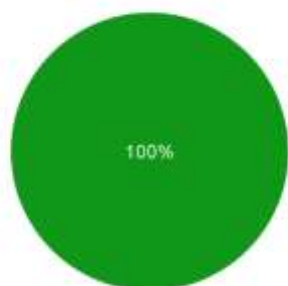


- 1. している
- 2. していないが、今後算定予定
- 3. していない

Q14. ADL 維持等加算の拡充(通所介護、介護福祉施設等) ADL 維持等加算を算定していますか？

1 4. ADL維持等加算の拡充 (通所介護、介護福祉施設等) ADL維持等加算を算定していますか？

9 件の回答

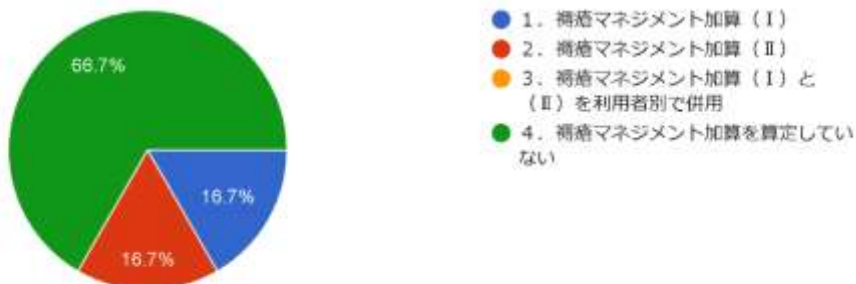


- 1. ADL維持等加算 (I)
- 2. ADL維持等加算 (II)
- 3. ADL維持等加算 (I)と(II)を利用者別で併用
- 4. ADL維持等加算を算定していない

Q15. 褥瘡マネジメントの強化(介護保険施設等)

褥瘡マネジメント加算を算定していますか？

1 5. 褥瘡マネジメントの強化(介護保険施設等) 褥瘡マネジメント加算を算定していますか？  
12件の回答



Q16. 排せつ支援の強化(介護保険施設等)

排せつ支援加算を算定していますか？

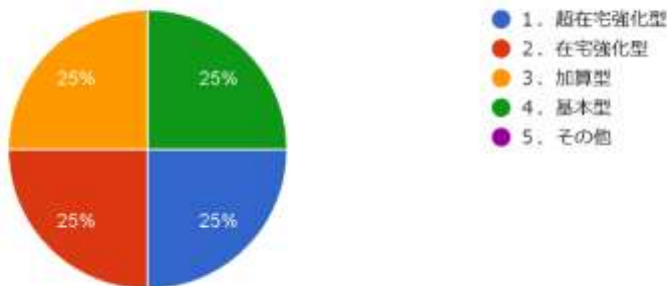
1 6. 排せつ支援の強化(介護保険施設等) 排せつ支援加算を算定していますか？  
12件の回答



Q17. 在宅復帰・在宅療養支援機能の評価の充実(介護老人保健施設)

老健の施設類型はどちらに当てはまりますか？

1 7. 在宅復帰・在宅療養支援機能の評価の充実... 老健の施設類型はどちらに当てはまりますか？  
4件の回答

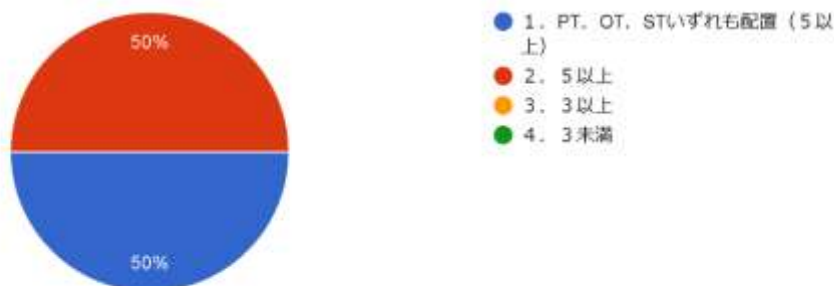


Q18. 在宅復帰・在宅療養支援機能の評価の充実(介護老人保健施設)

リハビリテーション専門職の配置割合はどちらに当てはまりますか？

18. 在宅復帰・在宅療養支援機能の評価の充実...専門職の配置割合はどちらに当てはまりますか？

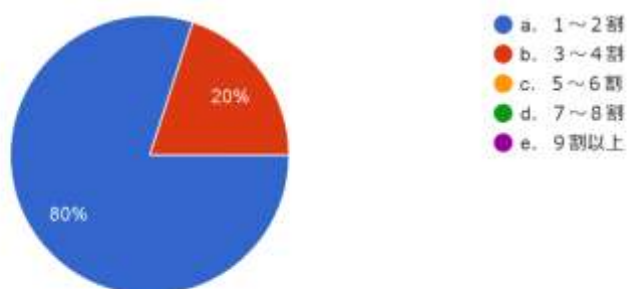
4件の回答



19. 訪問看護事業所におけるリハビリテーション専門職の配置割合はどれが当てはまりますか？

19. 訪問看護事業所におけるリハビリテーション専門職の配置割合はどれが当てはまりますか？

5件の回答



20. その他 今回の改正において、リハビリテーション業務や運営上、影響が出た点などがあれば回答ください。  
(自由回答)

特にありません

医師参加のリハ会議開催スケジュール調整が大変

介護予防訪問リハ 12カ月超の減算

今回、26件の回答を頂きました。設問としましては、Q2が必須項目の設定になっており、リハビリテーションマネジメントの実施対象外の方も回答している不備があったため、結果が算定していないとの回答割合が多くなっております。ご了承ください。

部会の中でも、前回のH30年度改定と比較し、リハビリテーションマネジメント加算の医師の算定要件やLIFEの導入など、リハビリテーション専門職の業務量の増加や要件が複雑になっているなどの意見も聞かれました。

今後、令和6年度の診療報酬との同時改定に向けて、事業所ごとの取り組みなど、保険部との連携を図りながら、情報提供できるよう、検討したいと思います。お忙しい中、アンケート調査へのご協力を頂き、ありがとうございました。

文責 福永



## 私と私の職場紹介

医療法人クオラ クオラリハビリテーション病院あいら  
久保下 洋輔

本年もはや半年が過ぎようとしており時の早さを感じるこの頃、協会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。黒岩整形外科内科様よりご紹介いただき、今回は私が勤務する医療法人クオラ クオラリハビリテーション病院あいらの紹介をさせていただきます。当院はJR日豊本線帖佐駅より約2km、九州自動車道桜島サービスエリア、桜島スマートインターチェンジ近くに位置しております。診療科は整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科、麻酔科、循環器内科、内科、糖尿病内分泌内科があります。当院では「地域の中核となるリハビリテーション病院を目指し、専門性の高い医療を実現します」を運営方針として掲げ、一般病棟30床、地域包括ケア病棟18床、回復期リハ病棟48床、計96床の病棟リハビリに加え、外来リハビリ、通所リハビリ、訪問リハビリに理学療法士40名、作業療法士10名、言語聴覚士2名、助手5名、マッサージ師1名の計58名のリハビリテーションスタッフが在籍しています。教育システムとして経験年数の浅いスタッフのフォローや指導が行えるよう各病棟、外来ともに3~4人でのグループを組んでおり、患者様のことや各種業務での相談が行いやすい環境であり、治療場面で悩んでいることがあれば、先輩スタッフが声をかけ協同して治療介入する体制もあります。主に骨折の術後、TKA・THA、脳血管障害などさまざまな疾患の方に対するリハビリテーションを提供しています。また、糖尿病の専門医の指導のもとリハビリテーションスタッフもチームの一員となって入院患者様への運動指導、地域の方々を対象とした糖尿病教室にて体操の指導を行っています。専門性の高い医療の実現のためにリハビリテーション部内や院内での研修、症例発表も数多く行っております。また、各個人としても日々自己研鑽に励んでおり現在、認定理学療法士11名(運動器9名、脳血管1名、管理1名)となっている他、糖尿病療養指導士や呼吸療法認定士の取得者もおります。私は以前の職場では、介護保険領域のリハビリテーションに関わるが多かったのですが、整形外科分野の知識・技術を学びたいと思い転職し当院での勤務が4年目となります。初めは聞きなれない言葉も多く不安もありましたが、諸先輩方に丁寧にご指導いただき少しずつ技術が身についてきたことを実感できるようになってきました。今後は私自身も後輩への指導に尽力していきたいと思っております。そして当院のグループ理念でもあるすべての患者様、利用者様ひとりひとりによりよい暮らしを実現するパートナーとして地域社会に貢献できるように知識・技術の向上に励んでいきたいと思っております。



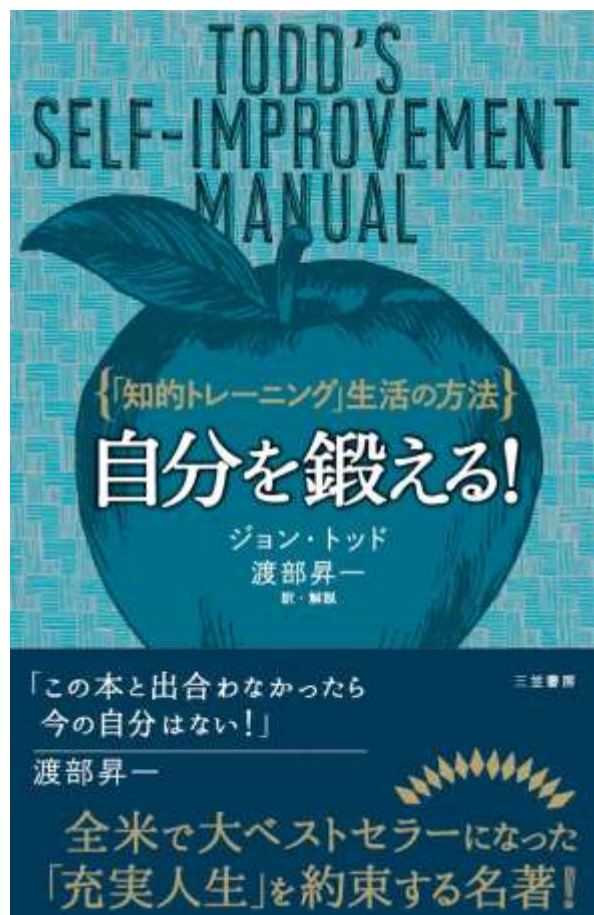
## 私のおすすめ

医療法人 玉昌会 キラメキテラスヘルスケアホスピタル  
丸山 元大

患者様のリハビリテーションの中で疑問に思う事や思うようにいかない事は多々あります。その都度色々な文献で調べ、患者様のデマンドに応えられるように日々努力しています。しかし、覚えたことを次の日には忘れ、悔しい思いをしたことはないでしょうか？「人間は忘れる生き物である」とよく言われますが、どうにか忘れないために何か方法はないかと考えたときに出会ったのがこの本です。

この本は「自分を鍛える」と書いてあるように、生活の質、記憶力、話し方など、人として必要なものを向上させるための方法がまとめられています。私達の職業は、技術や知識、コミュニケーション、体調管理など総合的な能力が求められます。求められる能力を得るためにこの本では具体的な手段が記載されています。記憶力が向上する方法、読書術、運動の大切さ、頭の休め方等、様々な事が記載されており、日常生活で実践しやすい内容となっています。

この本を読んで、忘れないための努力はただ覚える事だけではないという事を学ぶことが出来ました。さらに心と身体は表裏一体であり、何かを達成するためには近道はないという事も再認識しました。患者様へよりよいリハビリテーションを提供するために自分自身の習慣を見つめ直すきっかけになればありがたいです。ぜひ一度、ご一読いただき今後の参考にして頂けたら幸いです。



## 先輩認定理学療法士よりアドバイス

認定理学療法士 地域理学療法  
医療法人平和会 平和会訪問看護ステーション紫原  
徳富健太

### ◆取得しようと思ったきっかけ・分野について

2018年頃より研修会に参加した際、最低お一人とは名刺交換をするということを心掛けて研修会に参加していました。名刺交換をさせて頂く中で、様々な資格を持っている、自己研鑽されている方が多いことを知りました。また、養成校時代の友人が呼吸認定理学療法士を取得したことを知り、研修会に参加するだけでなく、認定理学療法士を目標に勉強を頑張ってみようと思ったことが取得のきっかけです。地域理学療法を選択した理由は、以前の職場で訪問リハに5年ほど携わる中、日々やりがいや楽しさ、難しさを感じつつ、訪問リハ部門の責任者を任せられ、より質の高い訪問リハを提供するために、専門的な知識や技術を身に付けたいと思ったからです。

### ◆研修会受講・症例報告・試験への対策について

研修会受講については、2017年頃より月1回以上は何かしらの研修会に参加するということを決めていたため、ポイントを集めるのは苦慮しませんでした。しかし、10症例の提出にはとても苦慮しました。友人から症例作成を丁寧にした方が良いとアドバイスをもらい、公表されている採点基準や記入例をもとに何度も練り直し、締め切り間近の提出となったのを覚えています。症例をまとめることで、日々の臨床の振り返りができ良い機会となりました。試験対策は先に認定を取得した友人やインターネットから情報を集め勉強しました。私が受験した年は、2月に予定していた福岡での試験がコロナ禍にて急遽5月に延期となり、オンライン試験へ変更となりました。その間新しい職場に移ったこともあり、とてもバタバタした事を思い出しました。

### ◆認定理学療法士を取得して

認定理学療法士を取得することがゴールではありませんが、勉強しインプットするだけでなく取得に向けた過程も価値があることだと感じました。訪問リハではご利用者やご家族、他事業所の多職種と関わる機会が多く、名刺交換をする機会が多いです。その際に、認定理学療法士と記載してあることで注目されることもあり、認定理学療法士の名に恥じぬよう日々研鑽し続けることが大切だと考えています。

### ◆今後の目標など

現在は法人内の訪問看護ステーションに勤務しており、医療依存度の高い方、難病の方、終末期の方などの在宅生活に携わることが多いです。そのため、更に訪問リハを深く学びたく、日本訪問リハビリテーション協会の認定訪問療法士取得を目指しています。また、今後は学会発表や学術誌への投稿も積極的に取り組んでいきたいと考えています。プライベートでは、小学生・中学生を対象にしたサッカースクールでゴールキーパーの指導にも携わっており、指導者ライセンスを受講中です。今後も仕事やプライベートでも、様々な事にチャレンジしていきたいです。アドバイスという観点から皆様のお役に立つ内容になったか分かりませんが、認定理学療法士に興味を持っていただき、取得へ向けた一歩を踏み出すきっかけとなれば幸いです。



## 事務局より

<会員動向> (5.15~6.15 定期承認まで)

入会 55 件 県内異動 84 件 転入 4 件 転出 4 件 休会 4 件 休会継続 14 件 復会 11 件  
退会 4 件

会員数 2,667 名

会員所属施設数 476 施設

\*会員動向に関する詳細は非公開とします。\*

役員行動録(R4.4.1~7.31)

4/1 JPTA 理事会(平名・弥栄・生駒)

4/2 JPTA 拡大組織運営協議会(平名・弥栄・生駒)

4/5 始良地区会議(弥栄)

4/7 全国士会長懇談会(平名)

4/13 霧島市長表敬訪問(平名・弥栄・東條)

4/14 県連盟会議(平名)

4/15 大隅地区会議(平名)

4/17 新人オリエンテーション(平名)

4/18 3役会(平名・弥栄・生駒・東條)

4/19 連盟研修会(平名)

4/20 理事会(平名・弥栄・生駒・東條)

4/22 鹿児島高次脳機能研究会世話人会(平名)

4/23 小川かつみ後援会会議(平名)

小里代議士意見交換会(弥栄)

4/27 鹿児島市長寿あんしん課打ち合わせ(平名・東條)

生涯学習システム打ち合わせ(東條)

5/9 鹿児島訪問リハビリテーション研究会会議(弥栄)

5/13 半田 PT 連盟会長意見交換会(平名・弥栄・生駒・東條)

5/15 JPTA 理事会傍聴(平名・弥栄・生駒・東條)

5/16 3役会(平名・弥栄・生駒・東條)

5/18 理事会(平名・弥栄・生駒・東條)

5/19 POS 連絡協議会県リハビリテーション専門職派遣事業打ち合わせ(東條)

ダイハツ健康安全運転講座打合せ(弥栄)

5/21 第 13 回訪問リハ・地域リーダー会議(弥栄)

5/25 ダイハツ「健康安全運転講座(弥栄)

5/26 全国士会長懇談会(平名)

- 5/27 連盟研修会(平名)
- 5/29 福祉用具専門相談員研修会講師(弥栄)
- 5/30 JPTA 代議員鹿国会義(平名・弥栄・生駒・東條)
- 5/31 POS 理事会(平名・生駒・東條)
- 6/5 JPTA 代議員総会(平名・弥栄・生駒・東條)
- 6/7 連盟役員会(平名)  
鹿児島訪問リハビリテーション研究会会議(弥栄)
- 6/8 始良地区選挙対策会議(弥栄)
- 6/9 政策検討委員会(平名)
- 6/10 リコー打ち合わせ(東條)  
POS 連絡協議会監査(平名・生駒・東條)
- 6/13 3役会(平名・弥栄・生駒・東條)
- 6/14 鹿児島 JRAT 役員会(平名)
- 九州ブロック政策検討委員会(平名)
- 第1回始良地区研修会(弥栄)
- 6/15 理事会(平名・弥栄・生駒・東條)  
令和4年度第1回教育課程編成委員会(南学園)(弥栄)
- 6/16 九州ブロック小川氏後援会決起集会(平名・弥栄・生駒・東條)
- 6/18 小川氏選对本部説明会(平名・弥栄)
- 6/18 県士会監査(平名・弥栄・生駒・東條)
- 6/20 県士会総会(平名・弥栄・生駒・東條)
- 6/23 鹿屋市役所 訪問(東條)
- 6/24 県連盟リーダー塾(平名)  
鹿児島県青年部会の集い(平名)
- 6/25 介護職スキルアップ研修講師(社協)(弥栄)
- 6/27 始良地区選挙対策会議(弥栄)
- 6/26 小川氏全国一斉決起集会(平名)
- 6/28 POS 代議員総会(平名・弥栄・生駒・東條)
- 6/30 鹿児島市「シニア世代のヘルスプロモーション事業」事業推進委員会(平名)  
小川参議院議員後援会会議(東條)
- 7/4 鹿児島訪問リハビリテーション研究会会議(弥栄)
- 7/8 小川氏個人演説会(平名・弥栄・生駒・東條)
- 7/15 3役会(平名・弥栄・生駒・東條)
- 7/20 理事会(平名・弥栄・生駒・東條)
- 7/24 JPTA 第1回 Spice フォーラム(東條)
- 7/25 県高齢者保健福祉計画作成委員会(平名)
- 7/29 十島村役場打ち合わせ(東條)
- 7/30 九州ブロック士会長会議(平名平名・弥栄・生駒・東條)

所属施設の変更・自宅住所の変更等により会員登録に変更が生じた場合は、速やかにマイページより異動手続きをお願いいたします。

施設情報の変更は、施設代表者がマイページにログインし手続きを進めてください。

研修会参加は会員であることが必須要件です。

新卒・非会員の方へ入会のご案内をよろしく願いいたします。

入会手続きについては、日本理学療法士協会ホームページをご参照ください。

研修会については、鹿児島県理学療法士協会ホームページ等で案内いたしますのでご確認ください。

### ～編集後記～

まだまだ残暑が厳しい日が続いておりますが、皆様方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。今年は3年ぶりに行動制限がない中での夏休みシーズンやお盆を迎えました。まだ状況としては、感染予防に注意を払いながらではあるかと思いますが、久しぶりに帰省などをされた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

暑中のお疲れが出やすい時期ですので、体調を崩されないようくれぐれもご自愛ください。

今後もより良いものを発信していけるよう努めて参ります。広報誌に関してご意見等ございましたら、編集部まで連絡をよろしくお願いいたします。

編集部 尾付野 友紀

E-mail:rihabiri@gyokusyoukai.com